

ふるさと上越ネットワーク会報

NO.28 2009.12



巻頭言

上越市長

村山秀幸

Jネットの皆様、こんにちは。

皆様からは、会の発足以来、ふるさと上越市の応援団として、ご声援、ご支援をいただいております。心から感謝を申し上げます。

去る十一月九日、私は多くの市民の皆様のご支援を得て、市長に就任させていただきました。今後の市政運営に当たりましては、私の信条としております「約束を守り、きちんと説明し、決意をしっかりと伝える」ことを実践しながら、市民の目線に立った、市民から信頼される「温かい市政」を実現してまいりたいと考えております。また、それにより、上越市が「人が輝く、住み続けたいまち」「選ばれるまち」となり、次の世代に愛着と誇りを持って渡していくことのできる進化した上越市となるものと確信しております。

「人が輝く」ことは、即ち「地域が輝く」ことであります。市民の皆さんが、日々の暮らしを営んでいる地域の環境や生活上の条件は様々であ

り、そのことによって感ずる不安や不自由さもまた多様であります。しかし、それらを軽減する「温かな」行政の取組を進めることによって、人としての尊厳が保たれ、生きることの喜びを感じ、そして、元気で活力に満ちた人、輝いた人の中から自主的、主体的な地域活動が生まれ、ひいては輝いた人々が多く集う地域を形成できるものと信じております。そのような「人が輝くまち」「輝いている地域」に、人は居心地の良さや安心感・本質的な快適性を感じ、「住んでみたい」「これから住み続けたい」と思うのではないのでしょうか。

さらに、私は、子どもたちや次の時代を担う人たちが、将来もこの地域に住むことを選択してくれるよう、今の時代を生きる私たちの責任として、必要な受け皿・地域環境を用意し、その地域の可能性を広げるための手立てを講ずることを、これからのまちづくりや地域づくりを進める上での基本的な理念として位置づけているところであ

ります。

さて、Jネットの皆様からは、「ふるさと越後大使」として当市のPRや、「ふるさと市場」を活用したお米やお酒などの購入など、様々な活動を通して、当市の応援団となつていただいております。私自身、今年の春のふるさと交流会や、東京で行われた総会にも出席させていただきました。皆様の皆様と親しくお話しする中で、皆様のふるさとへの深い想いと期待の大きさを改めて実感いたしました。そして、Jネットの皆様からも、安心して帰ってきていただけるような「まち」にしたいと、決意を新たにいたしました。

Jネット会員の皆様には、ふるさと上越への深い想いを、これからも、ぜひ、抱き続けていただき、ふるさと上越の応援団として、今後とも格別のご協力とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



- ・昭和23年10月14日生まれ
- ・上越市大淵区出身（妻と父は高田出身）
- ・昭和46年新潟県採用
上越地域振興局長を最後に退職。
- ・平成19年4月上越市副市長
- ・趣味…スキー・登山・花を育てること
- ・座右の銘…「徳は孤ならず、必ず隣あり」

高田藩 (榊原家) と和親会

旧高田藩和親会 (榊原慈善団後継) 財団法人認可
百周年記念に思う

上幕 松川 太賀雄 (稲田出身)

旧高田藩和親会 (略称: 和親会) は、明治四十二年 (一九〇九) に財団法人の認可を得て組織された榊原慈善団の後継として百周年を迎えました。

和親会は当初、会員は旧藩士に限られていたことから「旧高田藩士族和親会」と呼称して、会員相互の親睦と旧藩士の墓所が多い金谷山墓地の維持管理を目的としていました。現在は、金谷山墓地を一般に開放するようになって「土族」を割愛し、「旧高田藩和親会」と改めています。したがって、会員は金谷山墓地に墓を持ち、榊神社 (祭神) を崇敬する人。さらに高田藩・榊原家が地域の歴史や文化に果たした貢献を尊重して、その威風を現在と将来に伝承しようとする意思を持つ人々によって組織されています。

九月十四日、和親会は榊神社祭礼の

「勤学」は藩祖・康政公以来の藩風とはいえ、政教公の英断はまさに国家の将来に思いを馳せられた偉業であり、明治四十二年一月、財団法人に認可されて百周年にあたる今年、記念碑を建立して顕彰の意を表するものである。

平成二十一年九月吉日



松川 太賀雄さん

日に百周年を記念して、次の二つの事業を行いました。

一、「勤学の碑」の建立・除幕式

育英事業などの基金を下賜された榊原家十四代藩主・政教公の偉業を顕彰する「勤学の碑」(碑文・長谷川新氏、レリーフ制作・濱口剛氏)を榊神社の北鳥居脇に建立し、榊原家十七代当主の榊原政信氏 (Jネット顧問) ご夫妻により除幕式を執り行ないました。

「勤学の碑」の碑文は、次の通りです。版籍奉還、廃藩置県など明治維新に伴う社会的大変動期にあつて、榊原家十四代藩主・政教公は、当時の高城村・高田町村町費二年分に匹敵する城地売却費を育英事業などの基金として下賜され、旧藩士相い集いて榊原慈善事業団を組織、天下有為の人材輩出の基盤を築かれた。

二、記念フォーラムの開催と和親会会報の特別号を発刊

除幕式の前日に「勤学・育英に尽くした高田藩 (榊原家)」を内容として百周年記念フォーラム (講演) を開催しました。そして、榊原慈善団が組織されるまでの時代背景を「江戸幕末から明治後期までの激動期に勤学・育英に尽くした高田藩 (榊原家)」(主筆・長谷川新氏) と題して和親会会報・特別号を発刊しました。

和親会会報特別号「江戸幕末から明治後期までの激動期に勤学・育英に尽くした高田藩 (榊原家)」は、当時の高田藩の様子を、よみもの「仕立てにして記されています。内容については、目次を紹介しますので推察して下さい。まえがきに続いて、

一、「昨日の見方が今日の敵」激動する

国情

二、「勤皇か佐幕か」に二分する藩論
三、古屋作左衛門率いる歩兵隊の侵入

四、藩是に抗し脱藩、東征軍に挑んだ「神木隊」
五、「相身互い」の会津藩士扱
六、途絶えなかつた「勤学」の藩風
七、人材を育成した榊原慈善団
八、求心力の象徴・榊原神社と旧高田藩和親会となっております。

問題解決を本質的に決断する「勇氣」

幕末から明治維新、そして明治後期までの激動する高田藩は、時流が刻々と変化する中、譜代大名の雄として幕府側につくべきか、朝廷方に恭順を示すべきか、徳川恩顧と現実とのほざまで藩論は二分しました。三河以来の幕臣としての一分を通したいのは当然、たとえ「腰抜け侍」とか「二股膏薬」呼ばわりされ、後世なんとなしに肩身の狭い思いをする向きもありますが、そのような感情と一線を画し、主家と家臣や領民を守るためという新たな視点で、朝廷に恭順する道を選んで現実的な折衝や対応をしたので、このことから、物事の本質的な問題解決を決断する「勇氣」を学ぶべきだと

思います。

また、高田藩は本来十五万石ながら実収高が半分にも及ばない藩財政でした。明治二年には会津藩降伏人の預かりを余儀なくされた時、護送されてくる沿道筋に高田藩は「罪人であつても、土道に従つて戦つた人々である。いやしくも二階から見下ろすことがあつてはならない」という趣旨のお触れ書きを出したといわれ、それだけでなく困窮している高田藩士は、戊辰戦争で生活が更に逼迫しているにも関わらず千七百四十四人も預かり、精一杯の扱いをしたと思われる実直な事例は、今に生きる私たちを凛とさせるのです。

さらに、碑文に記されていますが、榊原家十四代藩主・政敬公は、当時の高城村・高田町の村町費二年分に匹敵する巨額な城地売却費を、困窮する旧藩士などの救済と人材輩出の基盤を築く育英事業などの基金として下賜され、榊原慈善事業団を組織されました。このことは現在の世情と将来的視点において「景気・福祉」もさることながら、「勸学」は藩祖・康政公以来の藩風とはいへ、「教育」が最重要課題であるとして人材育成に尽くされた政敬公の英断と旧家臣の英知に心から敬意を表するものです。

「ブランド」と「のれん」

そもそも高田藩榊原家は康政公を藩祖として「徳川四天王」という強力なブランドであり、永くその名を残す「のれん」です。

現代のマネジメント流に言えば、ブランドは自己の個人的能力を高め、広く名前を知らしめて仕事の成果を得ることで「のれん」は家族的な結束のもとにチーム内の充実を図り、仕事や組織の永續性を第一の目的として行動することです。

榊原家第十四代政敬公は、熱意があり才能に恵まれながら貧窮のため勸学の機会を持たない旧藩士子弟の育英と生活困窮者の救済のために、広大な城跡を売却した巨額な資金を下賜されて「榊原慈善団」を創設されました。財団法人に認可されて百周年を迎えることは、先人の労苦に感謝しつつ「旧高田藩親会」の「ブランド」と「のれん」の意義を今また新たに問いかかれた思いで身が引締まるのです。

榊神社は、市民歌ともいふべき「高田の四季」が「榊神社の社たそがれて」と歌いあげるように鬱蒼たる樹木に囲まれて、創建以来百三十余年になります。高田市の中心部に位置することもあって、市民にとって敬虔な祈りと心安らぐ憩いの場所として親しまれて来ました。

新しく建立された「勸学の碑」は、市民に多くのことを語ってくれるでしょう。



兼続と秋の上越探訪

中野区

小田切松枝（北城町出身）

北城高校同窓会に出席の折、当時の会長の勧めによりJネットに入会いたしました。仕事の関係でサロン、その他の行事にも参加出来ずにおりましたが、このところ皆様と会う機会が多くなりました。

秋の旅も今回で三回目の参加です。「ただ、たかだ」の駅員のアナウンスは今はない。しかし今も長野から妙高山を仰ぎながら古里に帰るのが大好きです。いつしか妙高号は、居心地がよく落ち着く列車となっているようです。

浄興寺

十一月八日（日）午後一時直江津駅集合 総勢二十一名。早速荷物をバスに積み、最初の目的地である寺町の浄興寺に向かう。折りしも菊花展の最中、踊漕橋を渡り菊のアーチを潜り、両側に丹誠さ

れた菊を鑑賞しながら本堂の方に行く。

本道前には懸崖仕立の菊が出迎えてくれる。戻って左側に曲ると聖人御本廟前に十月桜が昼月に溶けるような色合で私を迎えてくれる。しばし至福の時をただく。

ガイドの方に「ご苦労様です」と挨拶すると「どこから来なされたね」と「東京から」「まあ遠い所からありがとさん」と絶え間なく話し掛けてくる。いつの間にか引き込まれて方言で会話している自分がいる。懐かしさの中にくすぐったい気分させられました。

浄興寺について

浄興寺については、皆様もよくご存知の事と思いますが、ここ寺町には六十三ヶ所のお寺があるそうです。また浄興寺は新潟県内で最大の寺で東本願寺派の寺院として栄えましたが、昭和二十六年浄興寺派として独立し本山となりました。



小田切さんと親像像

本堂に続く第一日輪
戻りきて十月桜もういちど

滝寺不動尊 毘沙門堂

山間の道を車を走らせ滝寺へ、滝寺と毘沙門堂に関しては、会報二七号に掲載されましたので、ご存知と思います。随所から湧き出ている水、囲りの物はなべて苔、苔、「さざれ石の巖となりて苔のむすまで」を思い出す。水が水押し滝となり、落下した水は流れとなり、長い長い旅の始まり、人生も又旅、とそんな思いがふと心を過ぎる。毘沙門堂は、更に急坂を登る。戦勝祈念というより、今は旅の無事を祈念して坂を下る。

山粧う中、くわどり湯つたり村を目指して車を走らせる。

日かげりて彩りを深めし秋の流
神の鈴ふれば団栗またひとつ



湯つたり村

十一月九日（月）

朝食に、ひとりの女性が携わって下さいました。その古里訛りの喋りが心地よく、ふと私の心の中に祖母を感じた。この山の景色と同化されていて、光り立つ新米と共に、私の中では十二分にかっこよかったです。

生国は越後と答ふ温め酒

岩殿山 明静院

八時三十分出発 本日の最初の見学地・岩殿山、明静院に向う。入口には道標と石に銀杏の木がある。足に自信のな

人は車で、私はハイキング気分、秋風と道端の花を愛でながら登って行く。登りつくと、天台宗・五智国分寺、奥の院がある。本堂を拝見させていただく。そこには、行基の作と寺伝されている木造大日如来座像が安置されている。境内には大国主命と奴奈川姫の子である、建御名方命が誕生したという岩窟や、上杉謙信の供養塔がある。寺の右側に花芽をつけた枇杷の木を象徴するかの様に私の目を捉える。

豪雪の時の暮しは大変ではと考えながら山を下る。次の見学地居多ヶ浜記念堂へと向う。

秋蜘蛛あきくまのとりことなりし道標
思惟しゆい仏に母のまなざし枇杷の花



居多ヶ浜記念堂

承元元年、専修念仏の教えが弾圧され、京都より越後国府に配流となった親鸞が

ここから上陸したと伝えられる。居多ヶ浜を見下ろす高台の上に展望台が整備されている。展望台の奥には、親鸞の上陸を記念して建てられた居多ヶ浜記念堂、親鸞の像が安置されている。ここは地元的女性達で運営されている様で、当番の人が見学者の案内をする。お茶をご馳走になると話しがとても長くなり、席を立つのに苦労する所です。越後七不思議の一つ「片葉の葎」が見られます。浄興寺にあった「八房の梅」も七不思議の一つということをごこで解りました。

秋蝶の影ひきてゆく見真堂
越後路や片葉の葎に風の寄る



天・地・人博

NHKの大河ドラマに合わせた会場です。入口で若武者姿の案内人の説明を聞き、関の声を揚げ、毘沙門堂入口より入場する。ドラマに登場する役者、セツト、小道具等の紹介である。写真を見ながら進む。「あの時の場面ね」と楽しそうな会話が耳に入る。私は戦国の世の女達の生き様に思いを馳せる。

関の声木霊こだま返りか賜高音たまなかに



直江津、ホテルハイマート内「多七」で昼食。旅の前半は解散となる。

苗名滝

後半の旅、一時直江津出発、冠雪の妙高山を仰ぎながら紅葉真っ盛りの中、妙高高原・苗名滝を目指す。ここは馴染みの滝です。別名「地震の滝」。遊歩道が

整備されて逆に滝まで遠くなった様な気がしました。滝の前の吊橋の真中に立ちしばらく目瞑る。滝の鼓動が私の胸中を震わせる。ここに在る総ての物を呑み込んで轟音を残し流れ去って行く。私は黙し、ただそこに立っている。

吊橋を渡るバランス雁の棹さし
山紅葉つなぎ吊橋渡りけり



いもり池

十日の予定になっていた池の平いもり池を散策する。周囲五〇〇メートルほどなので一周するのに大した時間はかかりません。湖面に写る妙高山が最高のスポットなのでしょう。今日は生憎のお天気で妙高山もご機嫌斜めのようにした。紅葉の中に点在する白樺林を垣間見ながら「あかくら荘」に到着。

池の面に逆妙高山や破れ蓮
高原の風の意のまま枯れど



いもり池のさかさ妙高

十一月十日(火)

岡倉天心史跡記念六角堂

朝食前に、岡倉天心像を見学することにする。七時に待合せ、藤沢さんのガイドで登りはじめ。冠雪の妙高山を眼前に、日の陰の側道には雪が残っていて風が冷たい。取り留めのない話をしながら行くと次第に汗ばんでくる。ふっと目を上げると景色が変化している。木々が裸木となつてすっかり冬支度だ。丁度その境目に六角堂があった。先月見た、谷中の天心像と思ひ比べる。

野尻湖と二茶記念館

予定に入っていない野尻湖と二茶記念館を見学することになる。九時二十分野尻湖着。ここは、斑尾火山の溶岩流による堰止湖。湖底よりナウマンソウの化石が出土。ここで湖を背に記念撮影。次の目的地一茶記念館に着く。

「九輪草四・五輪草で仕廻り」の句碑に出迎えられる。記念館は一茶の生涯をたどりながら貴重な一茶作品を見ることが出来る。柏原宿の様子や、一茶に関する資料なども展示されている。十一月十九日は一茶忌で全国俳句大会が柏原で行われています。私も一句投句箱に投函いたしました。一茶旧居跡は宿場の大火災で類焼し、十一月十九日焼け残った土蔵で六十五歳の生涯を閉じました。今では、一Kでしょうか。

自然と、小さな生き物をこよなく愛した一茶。この柏原で生を受けたことが一番よかったのかも知れません。人間は土に根を張って生きることが何より大切だと、そうすることによって色々な物が見えてくると、そう一茶は語っているのかなと思ひながら車中の人となった。途中道の駅で休憩をとり一路最後の見学地である鮫ヶ尾城跡へに向う。

行く秋や湖面をすべる風の色

行く秋や一茶忌近き柏原

紅葉舞ふ一茶土蔵の一つ窓
冬の蛭日のある方へ黄泉みえて



一茶記念碑の前で

鮫ヶ尾城と勝福寺

私はこの城の名前を初めて聞いた。景勝と景虎が後継をめぐつて景勝が勝つたとその程度の知識しかなく、負けた景虎がどうなったかはあまり知らなかった。先ず上杉景虎公供養碑と上杉景虎公石像のある勝福寺に行く。この寺の住職である老翁が杖に身を委ね、景虎のこと、御館の乱のこと、それにまつわる諸々のこと、多分祖先からの口傳であろう話を砥

のごとく口調で語りかける。そして私の胸の中に刺す様に食いついて来る。思わず空を見た。平和な秋の空だった。辛うじて泪が落ちるのを防ぐことが出来た。供養碑と景虎公石像に手を合せた。さぞかし小田原に帰りがたかったのではと、二十六歳で逝つた凛々しい景虎公に別れを告げた。寺の右門際に夫婦仲良く手をつないだ道祖神に出会った。少し気持を和けることが出来た様な気がした。現在も四月二十九日に法要が行われている。住民の心の深さ、やさしさに感謝しつつ寺を後にした。

身に入むや妻太りにりりしき武者の像
行く秋や道祖神は石の手をつなぎ



勝福寺

鯨ヶ尾城遺跡

上杉謙信の死後におこった御館の乱では、上杉景勝と家督を争って敗れた上杉景虎が、相模国小田原に逃れようとして、当城に立ち寄ったが、城主堀江宗親の裏切にあい、ここで自刃した。城は景勝の持ち城になったが、景勝の会津移封ののち廃城とされた。頂上の本丸跡からは高田平野を眼下に妙高や日本海まで一望することができそうです。この辺り史跡公園に整備され「ひだ歴史の里」となっていて広場、野外炉、釣り堀などで楽しめるところです。帰郷された時ぜひ足を運んでいただきたいと思います

斐太の秋昔むかしが新しく
死の重み生きてる重み秋日燦あざ

中食処「三恵」

全行程を無事に終り、秋色の古里の中昼食会場仲町の「三恵」に着く。盛り沢山のご馳走にお腹、心とも大満足「来年も逢いましょう」を「さようなら」の言葉代りに解散。

冬に入る旅の終りの鮎三昧あざなまい



今回の旅は、良い天気恵まれただけでも最高。空澄み、水澄み、空気澄み、ふるさと何処をとつても紅葉、々、々。冠雪の嶺と裾濃き紅葉の妙高山は最高。山眠る前の山粧うを、まのあたりにした私は幸せ。食事も盛り沢山、おいしいので全部平らげる。身体に優しいメニューに感謝、そして美味、新米の匂いと光たつご飯に「おかわり何ばいぬ」？ 文句なくおいしい。宿もよし。湯つたり村では実家に帰った様な感じ。方言の喋りが耳にやさしく心地よい。妙高山を眠間の宿に満足、この景色と自然を詠み妙高山ファンを増したい。部屋もゆつたりとして居心地がよい。尚二晩とも、食べ、飲

み、歌い、語らひ和気藹藹と時を過ごすことが出来充実した旅を経験させていただきました。

盛り沢山の見学地の設定にもかかわらずスムーズに見学出来たことをうれしく思います。参加者の年齢と体力を考慮して時間の調整をされたのでしよう。それには入念な下準備があったことと思います。和久井会長、幹事の中村真和さんに厚く御礼申し上げます。



あから荘で



浄興寺の菊花



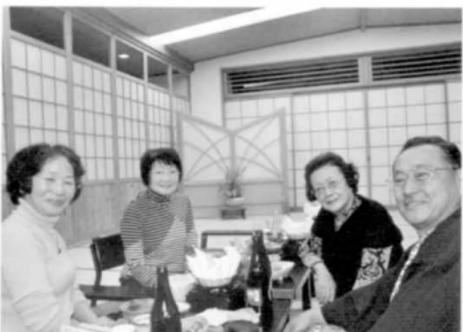
浄興寺で



滝寺不動尊



毘沙門堂



湯ったり村の宴会



湯ったり村カラオケ大会





いもり池の三美人



湯ったり村で



苗名の滝



苗名の滝入口



あくら荘での宴会



あくら荘での宴会



野尻湖畔で



カラオケ大会

ありがたきかな ふるさと

昭島市 佐藤光子（東城町二出身）

この度の「秋のふるさと交流会」に、私の友人の参加を快く受け入れていただき、感謝致しております。

二人とも去年『運の花コンサート』に行き、運の花を觀て清里の山莊京ヶ岳に泊ったのでした。夏の景觀のあれこれ、越後の人の温かさに出会ってすっかり上越が気に入り、「今度機会があったら、是非秋の里山を訪ねたいわね」と言っているのを聞いておりましたので、好機とばかりにお願いした次第です。

今回の訪問地も精選されていて、謙信所縁の史跡巡り、「ゆつたり村」と赤倉の宿泊、苗名滝、一茶の里、いもり池などの散策に紅葉も楽しめて、魅力満載のコースでした。

各所での風物はもちろんですが、二人には、皆様の温かい歓迎が一番心に残った様子で、私からも重ねてお礼を申し上げます。

げます。

花を觀て寄りて香を利く菊花展

あはあはし古利の庭の冬桜

冬桜今日が觀（ろと口ぐちに

錦秋を巡りて宿に深眠り

走り根の道轟かす冬の滝

新しき筵の匂ひ一茶の忌

眠る山まること映しいもり池

煮るための無花果を買ふ道の駅

未だ推敲しなければならぬ句ばかりですが、お陰様で今回のふるさと訪問の感動を残す事が出来ました。

晩秋の上越

八王子市 早野冬木

この度は、上越ネットワークの秋の交流会の旅行に、佐藤さんの友人ということで、参加させていただき、ありがとうございます。佐藤さんの誘いに、軽い気持ちで便乗したのですが、新潟出身でないのは関根さんと私だけで、特別参加だったことを後で知って大変恐縮しました。

三日とも天気に恵まれ、もう終りかなと思っていた紅葉も、かえてその色合いに深みを増して、山里の秋は、さながら原田泰治の絵を思わせて、懐かしく心にしみるものでした。こうして筆を走らせている今も、ゆつたり村の朝霧に包まれたのどかな風景や、男性的で迫力満点だった「苗名滝」が浮かんできます。宿も、二か所とも、とても気持ち良く、食事も美味しく頂きました。

この旅で、晩秋のひっそりした山里の空気を存分に味わい、そして思いがけずリッチな旅を楽しむことができたことを、大変嬉しく有難く、遅ればせながらお礼を申し上げます。

最後になりましたが、幹事の皆様には、本当にお世話になりました。改めて厚く御礼を申し上げます。

遠く来て越後の寺や枇杷の花

冬木



左より早野さん、佐藤さん、関根さん

佐藤光子さんから、今回の旅へお誘いを受けた時、並でないご縁を感じました。と、申しますのは過去三度上越を訪れ、その都度新しい発見のある街に、「又、必ず」という夢が現実となったからでした。初回は桜の季節、高田城址の栄華を映すお濠に夜桜の妖艶な美しさは今も臉に浮かびます。二度目は、蓮の花満開のお濠、気高く凛とした姿をカメラに収めました。三たび花の季節、城址公園での吟行会、その折佐藤さんに案内して頂いた、雁木通り、警女の宿、謙信公縁の地、林泉寺、など。

そして四度目の旅は、直江津から始まりました。菊まつりの浄興寺、山門に掛けられた菊のアーチが珍しく、更に参道に見事な菊の鉢の数々が秋を満喫させてくれました。高田町には、六十七ヶ寺を数えるとは驚きでした。次の見学地「滝寺不動」は後日知るところにより、会報二七号に詳しく掲載されており、割愛させていただきますが、滝への径を辿り近づくにつれ、確かに靈気を感じました。

今夜の宿「くわどり湯ったり村」に着いたのは暮早い季節、心温もる灯りに迎えられました。それぞれ入浴の後の楽し

み、宿の心尽くしの会席膳に舌鼓を打ち、美酒に酔い、楽しく、和やかな時が流れてゆきます。この頃になると、メンバーの方々の華々しい前歴など少しずつ知るところとなり、自分は何と場違いな処にいるのかと、身の縮む思いでおりましたが、紳士淑女の皆様は大変謙虚な方々で、初参加の者にも隔てなく接して下さいました。

翌朝は、岩殿山明静院へ息も切れんばかりの長い坂道を登り、神聖な地へ近づくにつれて、心が澄み神話の世界へ誘われます。大日如来坐像へ頭を垂れ、ご情緒を伺いました。下山の途中鈴生りの柿や木の実など愛でる余裕も出てきました。

息継ぎの胸突き八丁まゆみの実 絢子
御館跡では、勝福寺ご住職の上杉景虎にまつわるお話を拝聴し、鮫ヶ尾城址公園へ。青空の下、真っ赤な桜紅葉に景虎の流した血涙を想わずにはいられません。

景虎の無念の桜紅葉かな 絢子

次に、「日本の滝百選」の苗名滝へと移動。バスを降りれば、轟音が耳を、身体を突いて来る。その滝へもつと近づき

たくて、ごつごつした道をひたすら進む。暫く行くと一茶の句碑に出会う。

「滝けぶり側で見てさへ花の雲」 一茶
大瀑布を目前にして、人間の叡智を超えた自然の作り出す景観に一茶もさぞ驚いた事でしょう。触発されて私も一句

冷まじや天地揺るがす大瀑布 絢子

マイナスイオンを全身に浴び疲れも忘れて、二日目の宿「あかくら荘」へ。趣のある落ち着いた雰囲気にも心身ともに癒され、明日の旅の楽しみを胸に安らかな夜を迎えました。

限りある紙面を拙文で汚してしまいました。

皆様のご好意により、上越の旅を堪能させて頂きましたことに、心から感謝致します。最後に「上越ネットワー」の益々のご発展をお祈りいたします。



苗名の滝



苗名の滝と一緒に



一茶記念碑の前で

江戸東京博物館見学会

大綱目録 藤沢勝一郎(東本町四丁目出身)

今回は、首都圏に住んでいながらなかなか行く機会が無い江戸東京博物館の見学です。当日は、特別展として「よみがえる浮世絵—うるわしき大正新版画—」も催されていましたので、こちらも見学してきました。

九月二十九日(火)、会員十一名は、六階の常設展示室から各自自由に見学を開始しました。

入り口を通ってすぐの日本橋を渡ると江戸ゾーン。江戸城と町割り、寛永の町人地での人の往来している模型やパネルがあり、こんな賑わいだっただのかなという感じが感じられます。近くに「体験しよう大名乗り物」という津山藩主(岡山県)が大名行列時に使った駕籠が置かれ、自由に乗り記念写真も撮れることから、女性や外国人客にもなかなかの人気です。

戦国時代前半の関東地回バネルには、

山内上杉氏は現在の群馬・埼玉県あたりを、扇谷上杉氏は現在の埼玉・神奈川県・東京都あたりを、古川公方足利氏は東京都・千葉・埼玉・栃木県の一部あたりを勢力圏にしていることが示されていて、それに伴う武士団も現在の小田原市、府中市、浦和市あたりに集中し、東京都は閑散としています。字だけの説明よりははつきりと理解できます。

江戸ゾーンの「武士の暮らし」

江戸詰した二十八歳の紀州藩士の万延一年(一八六〇年)の藩邸内勤務日数や一ヶ月の行動記録がありました。彼の勤務日数は、六月が六日、七月は〇日、八月は十三日、九月は十一日、十月は八日、十一月は九日。勤務時間は八時頃から十二時頃です。九月の行動では、藩邸(現

東京都港区元赤坂の迎賓館)から、現在の王子、深川、足立区辺りまでの神社仏閣などを歩いていきますから、今のサラリーマンの勤務形態に比べると実に羨ましい限りと言えそうです。

「越後・新発田藩 江戸中屋敷借家園真景」の景観絵巻があります。一八四四年、現在の東京都中央区銀座八丁目に築造された庭園借家園で、江戸の大名屋敷にはこのように粋を凝らした庭園が多く造られたとことです。

「町人の暮らし」

「江戸店奉公人の経歴—三井越後屋京本店採用者三十五名の動向」として、そのうちの一人、宮田善右衛門のケースが例示されています。

京、伊勢とその周辺上方出身者三十五人が子供・手代(十三、十四歳)として京本店に奉公に上がり、二十一、二十二歳で残ったのが八人、更に三十一、三十二歳の上座(役付)になると六人。勤続年数十五年以内に上座になれない時は、片付けられます。その後、役職が役頭→組頭と上がり、支配(この役職までは住込み)まで残った者は四人、四十一、四十二歳頃です。この間、何回かは江戸店へ向します。

支配の上が通勤支配で、ここから上の役職がいわゆる重役です。通勤支配にな

ると、自分の店を持ちながら、重役として通い勤務することになり、このとき妻帯を許されます。

通勤支配の上の役職は、後見↓名代↓勘定名代↓元方掛名代↓加判名代↓元となりです。

通勤支配になった者は三十五人中、宮田善右衛門一人、この時五十歳。この役職のまま七十二歳で退職、七十三歳で死亡しています。先ほどの紀州藩士と違って、かなり厳しいようです。

庶民の楽しみ「芝居と遊里」では、中村座のセットがあり、昔も今も芸人・タレントの人氣が高いことに変わりがないようです。多くの老若男女が、セットをバックに記念撮影していました。



重さの千両箱を持つてみるのが出来ませぬ。結構重たくて、テレビの時代劇で見るように、捕り方役人を気にしながら暗闇を一人で何箱も担いで走るなど、とても無理ということが実感できます。ちなみに一箱の重さは、天保小判千両約十一kg（十千両箱（約三kg）全体で約十四キロです。腰を痛めている方は、体験を遠慮した方が良いでしょう。

九月一日の「防災の日」にちなんだ地震関係の展示で「鯨絵」の大きなパネルがありました。

以下に「震災と日本文化」故事来歴からみる鯨と地震（伊藤和明）から引用しました。

「茨城県鹿島町の鹿島神宮境内に『要石』と呼ばれる大石がある。『常陸国誌』によると『大きな魚が日本を取り巻いていて、魚の頭と尾が鹿島の地で重なりあっている。その頭と尾を、鹿島大明神が釘で刺し貫いていて、魚が動けないようにしている。要石は、その釘にあたるものだ』と説明されているが、この大魚が鯨であるという証拠はない。しかし、まずは鯨と考えるのが至当だろうということで、後になって、鹿島大明神が要石で鯨の頭をギュッと押さえつけているという、あの有名な鯨絵が登場するのである。」

「東京ゾーン」には、鹿鳴館、開化の

背景、産業革命、空襲と都民、旗指物などの写真、パネル、実物などが展示されていて、単板のスキー、竹製のストック、初期のアノラックなどは自分の記憶にもあり、とても懐かしく感じました。



よみがえる浮世絵

特別展「よみがえる浮世絵・うるわしき大正新版画」では、米国人ロバート・ムラー氏が一九三二年（昭和七年）から収集した作品四千点の中からの三十点や橋口五葉の「髪梳かす女」、吉田博の「日本アルプス十二題 針木雪渓」などが展示されていました。

「髪梳かす女」では、女の表情から髪の本一本本まで極めて丁寧に彫られ、摺られていて、感心することしきりでした。

新版画とは、江戸時代の浮世絵版画と同様の技法によって制作された、大正から昭和初期に興隆した木版画で、版元、版画家、彫師、摺師らが結集して一枚の作品を創作したものです。

わが国では、江戸時代の一七二二年には書物問屋仲間と地本問屋仲間が成立し、書物問屋は学問的な書物を、地本問屋は草双紙などの戯作や後には錦絵を取り扱っており、版元・作者・絵師・摺師の分業によって、優れた印刷出版技術を有していたからこそ出来た新版画だと思えました。

なかなか見応えのある博物館で、特に若い方々にこそ行ってほしいと思います。



見学終了後の懇親会 右側藤沢さん

名古屋サロンに参加して

台東区 岡村 普（西本町四出身）

十月三日、名古屋サロンが例年通り名古屋駅の十五階のレストランにて開催されました。

私は和久井会長、内藤實運営委員と共に「お手伝い」ということで出かけました。

私自身は東京以外では初めてのサロンですから、いわば名古屋デビューということになります。

名古屋地区サロンの特徴は、会場が完全貸切でないこともあり、マイクなども使用せず、終始ほぼフリータイムであることです。

例年このパターンで続いているということ、むしろの方が皆さん、思い思いに楽しんでいらっしやる印象を受けました。

名古屋地区は太田四郎前会長が県人会顧問ということもあり、県人会の活動が

盛んで皆さん顔を合わす機会も結構あるとのこと。

だからこのサロンも県人会の延長の感じで、改まった式次第など不要なのだと得心しました。

あとは尾原ご夫妻の名幹事、頭の下がる思いであります。

「お手伝い」で行ったのですが、ほぼご馳走になりに行ったようなものでした。



今年最後の「Jネットサロン」開催

今年最後の東京サロンが十二月九日に、新会場となった渋谷・道玄坂の会場で開催されました。道玄坂の新会場となつて丁度十二ヶ月目。毎月二十〜二十五名の同郷の老若男女が集まり、昔話や最近の心境などを話し合いました。最近は健康の話題も増えております。常連さんが欠席すると具合が悪いのじやないかと、みんなで心配します。有り難いことですね。

贅沢なツマミはありませんが、酒好きな幹事の手配で、何時もふるさと越後のお酒が用意されています。お一人でお出でになつても、直ぐ友だちが出来ます。ご都合を付けて是非参加ください。またサロン後の軽い二次会も楽しみの一つです。

日時 毎月第2水曜日

五時三十分から七時まで

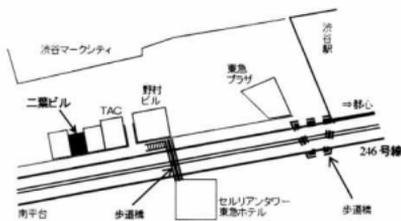
会場 社会システム株式会社 分室

渋谷区道玄坂一、十六、十六

二葉ビル六階6B号

会費 一〇〇〇円

渋谷駅より徒歩五分



二次会を楽しむ常連さん



東京サロン・忘年会 12月9日

天皇陛下御在位二〇年をお祝いする

「国民祭典」

神樂区 小野塚い子（松之山町出身）



昭和三十四年四月十日、私は父に連れられてご成婚をお祝いする為、皇居前の大通りで馬車パレードを待っていました。きらびやかで素敵なお馬車パレードでした。

それから五十数年を経て十一月十二日、皇居前広場で行われた天皇陛下ご在位二十年をお祝いの「国民祭典」に参加した一人として二重橋の上にお出ましになる両陛下を仰ぐことになりました。入場チケットを手に早々と三時前にゲートに到着。厳重な持ち物・身体チェックを受け、「日の丸」「提灯」「レインコート」を配られ、指定された位置で席を確保、大きな画面に映し出される第一部の奉祝まつり出演団体（しばた台輪・佐渡おけさ流しを含む全国からの十九団体）の路上パレードを見ながら祝賀式典の始まるのを待つこと三時間。

司会者の「今の気温は十二度と冷え込んでいます」というお天気発表に寒さに凍えていた私は、より一層の寒さを体感してしまいました。平沼赳夫氏の開会宣言に始まり、国家独唱、各界代表のお祝いメッセージ、奉祝演奏と大画面に映し出されます。佐渡の鬼太鼓座の演奏は大太鼓に向かう締め込み一本の緊張感ある後姿と夜空に響き渡る太鼓の音とリズムは素晴らしいものでした。同郷の者として嬉しかったです。

配られた「提灯」に係員の指導で火を灯す頃にはとつぷりとも暮れ、寒さも一段と強まる六時三十分、「二重橋の上」に両陛下のお出ましです」との司会者の声に、会場は日の丸が頭上に揺れ、火の灯った提灯も高く上げられ、「ウオー」という地響きに似た歓声が上がりました。私の位置からだど肉眼では親指ほど

の遠さであったが、大画面に大きく映し出された両陛下のご様子は、いつもの優しさに溢れる穏やかなお姿でした。主催者に続き、鳩山内閣総理大臣の祝辞、天皇陛下御在位二〇年奉祝曲、組曲「太陽の国」はオーケストラ演奏による第一部「太陽の種」ダンスの加わった第二部「太陽の芽」歌詞のついた第三部「太陽の花」の三分構成でした。「太陽の芽」「太陽の花」はEXILEが踊り、歌いました。彼らはテレビにも良く出ていて、私もダンスの上手なグループと知っていたので、とても嬉しかったです。感動があり今でも心に残るダンスと歌でした。国家斉唱の後、天皇陛下のお言葉がありました。一言一言に会場内は、「ドオー」という歓声が上がります、日の丸が揺れます。特に「ひどく冷え込み皆さんには寒くなかったでしょうか」のお言葉には、ひと際大きな歓声と日の丸の揺れでした。私たちを氣遣ってくださる陛下の優しさに心打たれ、ホンワカとした気持ちになりました。

両陛下ご退出の時は、万歳の声が止む事無く幾度も夜空に響き渡りました。

家に帰り、テレビニュースで報じられる日の丸の揺れを見て、私もこの中の一入だったことを認識し、幸せな時間を過ごせたことの満足感を味わいました。それと同時に、今の社会では祝祭日に国旗を掲げる事をしなくなっていること、大

切に思っていることを残念に思いました。もつときちんと国旗「日の丸」を考え伝えていけるようになったらと思います。我家では、家主のこだわりで元旦を始めとして「ハタビ」には玄関前に「日の丸」を掲げています。



「天地人」を楽しんでいます

大和市 玉井輝（本町六丁目出身）

昨年からの大河ドラマが始まるのを、楽しみにして待ちに待っていました。

春日山頭から眺めた上越の山々、鮮明で緑濃くとても綺麗でしたね。そして二回目の時、雪の中を兄さんが、幼児をやつと探し出し、おんぶして灯りが見える処まで来た時は涙が出ました。感動のシーンでした。拙文では言い表せませんが、織田信長の本能寺の変、関ヶ原の天下分け目の戦とかには、上杉景虎のような文武兼備した水魚の間柄の相談相手が必要ですね。こんな関係を今学校では教えていないようですね。

このドラマを見て、昔詩吟を楽しんでいた頃を思い出しています。

読み方

春日山頭 晩霞に鎖さる
驛鯉嘶き罷んで 鳴鶴有り
憐れむ君が独り 能州の月を賦して
平安城外 花を詠ぜざりしを

頼山陽作の川中島は、皆さんのご承知の通りです。

題下不識庵撃機山圖上

鞭聲蕭々夜過河

暁見千兵擁大牙

遺恨十年磨一劍

流星光底逸長蛇

さて、ここで皆さんにお願いがあります。

春日山節を始め、上越には多くの民謡や雪の歌があります。しかし私が察するにお隣の甲斐の武田節のようなこぶしの効いた、重みのある歌はないのではないのでしょうか。

どなたか、武田節に負けないような、何十年と歌い続けられるような、そして日本中の人に愛される歌を作ってくださいませんか。途中で詩吟を入れても良いですね。謙信、景勝、景虎、兼統などの英雄に纏わるエピソード、第一義などの不朽の言葉、言い伝え等は沢山あります。

吉報をお待ちして居ります。

（九十四才 野田ヒロ子、塩田礼子の母）



右より野田さん、塩田さん、玉井輝さん

大槻警漢作の
春日山懐古
春日山頭 晩霞
驛鯉嘶罷有鳴鶴
憐君獨賦能州月
不詠平安城外花

頸城ガス田大噴出から 五十年を顧りみて

名譽市 太田四郎（本町五丁目出身）

昭和三十四年、戦後最大の岩戸景気
年に、頸城ガス田から大量の天然ガスが
噴出し、地元が期待に湧いてから、今年
で丁度五十年になる。

頸城地区は明治の中頃から少量の石油
を産出していたが、昭和十年代になって
日本石油と日本鉱業が各所で本格的に試
掘したが、僅かな石油と当時問題にされ
なかった天然ガスしか産出しなかった。
戦後、帝国石油がこの区域を引継いで
積極的に進めて来たが、昭和三十年旧明
治村（現頸城区）でガス田探鉱に成功し、
信越化学や日本ステレンス（現住友金属）
にガスを供給するようになり、これが日
本のガスブームのはしりであった。つい
で潟町地区でガスは僅かだが多量のお湯
が噴出し、これが昭和三十三年開湯した
大潟町九戸浜の鶴の浜温泉の元である。
しかし、三十二年期待された東中島（旧

保倉村）の試掘は失敗に終わった。当時の
帝石岸本社長の手記によれば「東中島一
号井の不成功は私にとつて大きなショッ
クであり、ひそかに希望を持っていた高
田平野は諦めなければならぬことを意
味したからである」と記されている。

こんな失意の時、岸本社長は三十二年
十一月現地視察で柏崎から直江津へ向い
潟町にかかった時、自動車を道のまん中
で止める二人の老人がおり近くの松林へ
案内された。そこで潟町の有力者二十人
位から「ガスの需要はいくらでもあり、
是非潟町のガスを開発してもらいたい」
と熱心に要望された。また、直江津でも
高田、直江津両市の有力者から同様の要
望がなされた。

自動車を止めた二人の老人は、一人は
藤縄清治大潟町長（明治二十六年生、当
時六十五才）で酒造業を営み、元県会議

長で地元の治水工事、町村合併をはじめ
果敢でも業績をあげられたベテランの政
治家である。もう一人は元下里川村現柿
崎区）の地主だった三上廉平老（明治
十九年生、当時七十二才）で文筆家、教
育者でもあり、若い頃から地下資源開発
に情熱を燃し、頸北の名物男の一人と云
われていた。

藤縄町長、三上老はじめ地元の熱意に
はげまされた岸本社長はこれに応えて、
数ヶ所の試掘をしたが失敗に終わった。

しかし昭和三十三年十二月黒井五号井
を海に向かって二十度の傾斜角で掘り始
めた処三十四年一月十九日深さ一六三〇

町長の「住民の幸せと地元振興の願い」
そこに三上廉平老の「夢と勤と執念」が
ありそこで、三人三様の個性の男の惚れ
合いの成果ともみられている。

米で高圧のガス層に達し、大成功であ
った。後日、成功のお祝いの会が周辺市
町村地元関係者が集り大潟町で盛大に行
われた。「その席上、三上老が「頸城の
成功を毎日朝四時に起きて神様にお祈り
しました。今里井五号井の成功をみて、
私は何時でも安心して死ぬことができま
す」と老の感激を込めて語られたことは
私は終生忘れ得ぬ感激を覚えた」と岸本
社長は当時、所感を述べられている。こ
の日は帝石にとつても昭和十七年会社創
立以来の最良の日であった。

里井の成功により海底部にガス層が広
がっていることが判り、同年三月には潟
町五号井が成功し、十月には潟町二本
木間三七kmのパイプラインが完成しダイ
セル新井、日曹二本木にガス供給を始め
た。十二月には潟町十六号井が超大噴出
し日本最大のガス井となった。その後多
くのガス井が成功し、昭和三十七年には
潟町東京間三三五kmのパイプラインも
完成した。

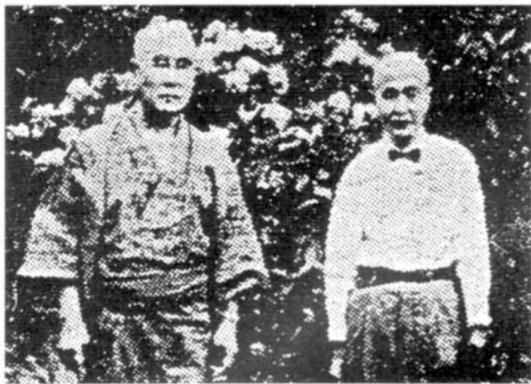
この成功は地元の熱意と帝石技術の結
集の賜物であるが、その根底には帝石岸
本社長の「企業意欲と経営判断」、藤縄

その後頸城ガス田は三十九年最高のガ
ス産出量になったがその後次第に減少
し、昭和六十二年南長岡（旧越路町）と
頸城間六三kmのパイプラインが布設さ
れ、南長岡ガス田によって補充された。
しかし当時国産エネルギー源の大宗と
して華々しくデビューした頸城ガス田も



太田 四郎さん

遂に平成十三年閉鎖されることとなった。現在は当時建設されたガスパイプラインなどインフラによってエネルギー供給の役割の一端を果たしている。



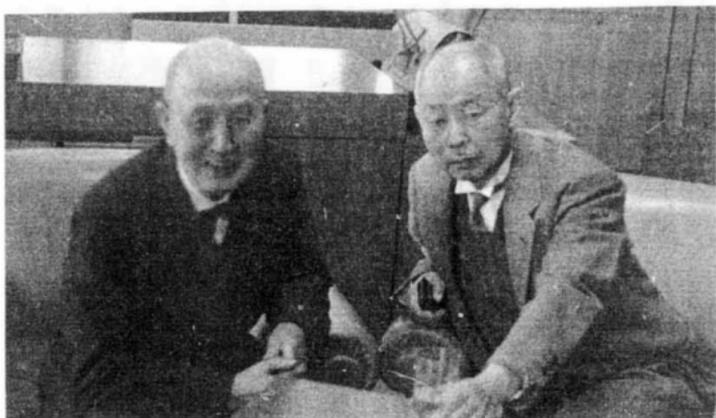
岸本社長を説得して、濁町ガス田を発見させた、藤縄（左）と三上（右）



岸本社長（左）と藤縄町長（右）



成功した濁町5号井



三上廉平老（左）と鮎川義介帝石会長（右）

東京牧村会の活動報告

東京牧村会 会長 岡 一二

平成八年秋に設立致しました当会は、
県人会、友好郷人会、Jネット様等のご
支援のお陰をもちまして、今年秋で満
十三年となりました。この間に「ふるさ
と牧村」は市町村合併で「上越市牧区」
となった訳ではありますが、上越市並びに
牧区当局のご支援もあつて、東京牧村会
としての最大の目標である「ふるさとと
の交流」は、年々充実を図つてまいりま
した。機会を頂きましたので、ここに一年
間の活動のあらましを紹介させて頂きま
す。

毎年二月、牧つ子雪祭りに合わせて実
施している『ふるさと訪問旅行』は今年
で三回目ですが今年の参加は四〇名、観
光バス一台の楽しいイベントでありまし
た。深山荘利用一泊二日、三年続きの少
雪でやや自然現象に裏切られましたがふ



るさとの皆さんには大歓迎を頂き、約七
〇名での歓迎の宴を開催して頂きまし
た。

二日目の体育館前での「雪まつり」は
例年通りの雪像造りで汗を流し屋台でふ
るさとの味を堪能して地元の方々のもて
なしに感謝感激でありました。

来年春は五〇名を目標に実施の計画を
先の総会で決議しております。

昨年から実施の棚田オーナーは、初年
度の十六名から今年度は二十二名と増
え、田植え、稲刈りにも大勢が参加しま
した。共に深山荘を利用しての一泊二日
の農業体験、牧農林業振興公社並びに地
元皆さんのご尽力のお陰で歓迎の宴も開
催頂き交流を深めました。参加者には農
業未体験の会員知人も含まれましたが、
その方々からは初体験の感激の言葉が多

く発せられました。またオーナー制度参
加の特典として玄米又は精米の供与を受
けることができましたが「本場のコシヒカ
リ」のおいしさに感嘆の声が上がり、早
くも次年度も継続参加の申し込みも多く
出されました。第三回の平成二十二年度
は三〇名の参加募集の計画で取り組んで
おります。

今年は何程を調整して頂いた関係もあ
つて、ふるさと牧の秋の名物催しで牧振
興会主催の『ふるさと村「頸城平炭火焼
きフェア」』が、稲刈りの翌日開催され
多くの会員が、これにも参加しふるさと
の多数の皆さんと交流、当日は木浦上越
市長、猪俣牧区総合事務所長、武田振興
会長も出席され歓迎頂きました。

文化交流も行われました。

今年八月、当会会員／牧区切光出身の
書家秋山青桃さんの作品展「書の彫刻・
立体書道展」が、牧体育館で開催されま
した。作品はふるさとの大木から切り出
して鑿を使つての立体書展で、その迫力
は見る方に大きな感動を与えるものであ
りました。

県内外から六〇〇人に及ぶ鑑賞者が訪
れ、新潟日報はじめ地元メディアにも大き
く取り上げて頂くなど大盛況の展覧会であ
りました。

秋山青桃さんプロフィール

毎日書道展審査員、日本刻字協会副会
長、新興書道展総務、銀座鳩居堂画廊
などで、毎年個展又はグループ展開催

尚同じく当会会員の書道家・柴田忠文
さんも以前に同体育館で書道展と書道教
室を開催され、ふるさととの文化交流に
貢献されております。

東京牧村会総会も盛況裡に開催。

十月二十四日恒例の東京上野精養軒で
ふるさと及び県人会からの来賓を迎え、
約百名の参加で今年度の総会を開催しま
した。ふるさとは猪俣所長始め要職
の方々のご参加を頂き、牧区特産「どぶ
ろく」で乾杯、雪中梅、ぶなの露、ちま
きで、ふるさとの味を満喫。特産品の即
売もあつて、ふるさととの交流を促進致
しました。

(文責 会長代行 三浦資郎)



岡 一二会長

東京新潟中郷会の活動報告等

東京新潟中郷会 会長 渡邊 茂男

本会は例年のように、第八回総会・懇親会を開催いたしました。

開催日時 平成二十一年六月二十七日
場所 新潟県人会館 二階ホール
参加者 二十八名

来賓

上越市市議会議員
吉田侃様（元中郷村村長）

上越市中郷区総合事務所所長
岡田様

総会・懇親会内容

総会 会長挨拶の後前年の会計報告等及び今年度の計画等承認を得、引き続き来賓の吉田議員から最近の上越市の現況等についてお話を頂き総会を終了。

懇親会

中郷区岡田所長から中郷区の最近の状況等のお話を頂き引き続き乾杯の発声により懇親会に移り、和やかに懇談が進み途中からカラオケも入り、来年の再会を約して終了となりました。

以上記したように例年、主たる事業として総会・懇親会を開催しております。中郷会の名称のとおり申頸城郡中郷村の出身者で組織しています。

渡邊が本年五月九日開催されました、「ふるさと上越ネットワーク」懇親会等の案内を頂き出席いたしましたところ中郷村の出身者にお会いできました。早速本会の総会・懇親会に出席していただきました。今後もこのような連携ができれば幸いと思っています。

話しが変わりますが、東京に居て中郷の報道等は皆無と言ってよいと思いますが、寒くなると名前が出ます。それは道路情報です。「長野の〇〇から中郷インターまで雪のため滑り止めが必要です」と。この情報により故郷はまた雪が降っているなと思ひ、かつ中郷を思い出しています。



渡邊 茂男会長

浦川原と直江兼続の足跡を訪ねて

―第六回ふるさと訪問旅行―

東京浦川原会 会長 小菅 俊信

上越地方は雨期に入つてひとときわ美しい緑の濃さを増しあてやかな初夏の季節を迎えています。

東京浦川原会は平成二十一年六月二十日～二十一日にふるさと訪問旅行が実施されました。一行二十七名が午前十一時にうらがわら駅に集結、総合事務所のパスに乗車、まず浦川原総合事務所を表敬訪問する。新任荒木所長のお出迎えられ歓迎の意を述べ、集落の最近の様子など説明され一行の労をねぎらわれました。

事務所を後にバスは春日山へ走行、県道の右も左も見渡す限り水田が続く米どころ頭城平野を眺めながら目的地春日山城に到着、入り口の石垣には謙信の銅像が川中島方面に向かって立っている、また春日山屋敷跡やお堂などの史跡をたどる、上杉謙信が出陣前に先勝を祈願した

という毘沙門堂、兼継が住んでいたという直江屋敷跡、春日山神社など見所が多い、また高台からの眺望も素晴らしい。

そこを後に春日山ものがたり館へ直行、謙信亡きあと上杉景勝・影虎が壮絶な跡目争いを繰り広げる、御宿の乱の跡地を見学。その後春日山ものがたり館を見学、そこには上杉謙信公や当時の春日山城の様子、川中島合戦図屏風や発掘調査の出土品が展示されていた。移動して海岸に近い直江津屋台会館を見学、スタジオセット・体験エリアでは春日城本丸御殿のセットを再現、スタジオでの撮影の様子が体験できます、またスタンバイエリアなど普段見ることができないドラマの裏舞台も紹介されていた。

会場を後に一行のバスは体験宿泊地の「月影の郷」に到着、バスを降りると緑に包まれた閑静だけが気持ちいを和ら

げてくれる。早速餅つきの準備が整っていた、ふるさとの思い出、餅をつくらつきあがった餅は小さくちぎり手のひらにのせて「アン」を入れ笹の葉に包む作業班と二手にわかれ笹餅を完成させた。田舎で過ごした懐かしい時間が蘇った。

夕刻六時過ぎより地元役職者や友人と合同懇親会を開催、山の幸をふんだんに盛り込んだ夕食、名物のつべ汁は絶品だおにぎりも大好評だった、地酒を酌み交わしながら華やいた雰囲気の中に一日が終わった。

二日目は宿舎のみなさんに別れを告げ、バスは南魚沼市へと向かう、いくつもの峠を越えトンネルをくり貫いた会場は南魚沼市六日町です、直江兼続生誕地、さっそく会場では愛と義に生まれた武将直江兼続戦国時代を描いた武者絵や歌時絵など・・・

正面にそびえる坂戸城(634m)を目にする、その昔景勝・兼続が若き日を過ごした場所である、直江兼続公伝説館を見学後「金城館」にての昼食はお発ち飯(おたちめし)である、その料理は上杉軍は合戦に臨む際に、家臣の士気を高めるために大量の飯を炊き酒樽を用意し料理を振る舞ったと言う、その後雲洞庵(うんとあん)を訪れる、越後の庄厳の寺として多くの信仰を得ている、杉の古木に包まれ森閑とした雰囲気の中に

佇むお寺、参道の敷き石には法華経が刻まれ参拝すると利益があるとか・・・雲洞庵で景勝・兼続は幼少の頃住職から学問を学び二人は共に四書・五経を初め中国の古典にも造詣が深く戦国時代の武将の中でも特に教養を備えていたと言われています。

最後に浦佐毘沙門堂に参拝、ここは上杉謙信・景勝が訪れたと伝えられている寺です、毎年三月三日に行われる「押搾合祭り」は日本三大奇祭として知られている。一行はJR六日町駅前にて、一泊二日の行程も無事に終了し、来年の再会を約して解散となった。



あさひ会の近況

あさひ会 会長 小山 留八

ふるさと上越ネットワークの皆さま方、木の葉が落ちて今年もあとわずかなりました。如何お過ごしでしょうか。

あさひ会会長の小山と申し上げます。私は旧旭村、板山集落出身でございます。当会も創立三十周年と成りましたが、創立当時と比べて会員が三分の一となっております。これも少子化が進んだ事による影響でしょうか。

さて、ここ最近の当会の活動を簡単にありますが、お話しします。当会は毎年三月に、故郷より役所の方々に参加いただき、総会を行っております。一年間の報告並びに行事の計画等お話しながら、又、その場の雰囲気、カラオケ、故郷の盆踊りなど、楽しい一日となっております。あさひ会を盛り上げようと世話役員十七名ほどが時間を作り、それぞ

れ会報発行、行事の準備等、頑張っております。世話役員会を年一回、六月、十二月に集り、「コミニケーション」が目的ですので、これまた、ワイワイとやっております。

当会は、その都度おもしろい計画で行事をやっております。既に、行ってきた行事は、ゴルフ大会、みかん狩り、お庭拝見、山歩き等行ってきました。今年はゴルフ大会を十一月十二日に計画しましたが、あいにく大雨となり残念ながら中止となり、又来年三月頃計画をしております。このゴルフ大会は平成十一年から始められ、年二回行ってきましたが、現在は一回となっております。

山歩きは今年から始める事になり、十月十日八王子の高尾山に、現地九時集合、皆さん杖を片手に頂上を目指し、頂上ではビールで喉を潤し、楽しい一日で

した。みかん狩りは小田原在住の同級生の絶大な協力とご好意により、楽しませていただいております。今年も四回目でしたが、十一月二十二日無事終了と成りました。

お庭拝見は、平成十二年頃、新宿御苑。足立区公設園など散策してまいりました。当会も関東地区におられる皆様方と親睦をと先輩方が立ち上げられた会ですが、冒頭にも書きましたが、会員の減少が？ 何か方策をと考える昨今です。



10月10日 高尾山



11月22日 みかん狩り



11月22日 みかん狩り

「プチ同期会」で思う

関東八千浦会 会長 波多野繁夫

平成二十一年八月十六日午後五時、直江津駅前ホテルハイマートの一角「レストラン多七」、昭和三十三年直江津高校普通科卒の男性十三名、女性六名の御歳七十一歳の面々が集合、会合名は「直高三二会プチ同期会」。

今を過ぎること二十年ほど前、ようやく育てても一段落した五十歳を期して同期会を開こうと提案し、毎年上越は勿論の事、湯沢、佐渡、妙高、箱根、上田と所を替え開催し、六十歳の還暦を記念しました。

平成十一年四月十九日より二十四日まで五泊六日で恩師を加え総勢三十六名でタイ旅行を敢行、帰って記念誌「ゴールデンシャワーの国へ」を百部発行、お互いの旅の感想を記した冊子、記念のスナップ写真に加えてその時の感動を永く脳裏に残し後日楽しむためには文章が一番

との高校の国語教師の中井君の意見、尤もと参加者の作文を百ページに亘り集録、参加者は勿論のこと知人友人に実費配布、好評を博す。

成田に降り立ち興奮さめやらぬ口調で「又連れてって」の女性陣の声に気を良くしつついついその気になり、平成十四年四月十四日より二十一日にかけてアテネオリピック開催を翌々年に控えたギリシヤへ友人知人を含め二十四名で、再度旅行。

これ以降五十歳から毎年欠かさず催行した同期会も、持ち回りで決めていた幹事が全く動かさず中止したまま。同期生からの毎年の年賀状には同期会の再開を希望する者多く、これに応えようと思ひ、それなりに長けた何人かに提案するもなしのつぶて。

今回故郷八千浦中学校同窓会総会に、

関東八千浦会を代表し招待されたのを機に、上京の度に関東地区在住の同期生と夜の宴席を設ける事を唯一の楽しみにしている伊東君に連絡。上越市在住の諸君だけによる「プチ同期会」の開催を提案彼快諾。

早速の電話作戦、私は私なりに彼の連絡してない諸君に手紙での連絡、結果冒頭の人数が集合した。

予想以上、久々の再開にしては皆さして年老いておらず若々しい。それは見掛けだけでなく気持そのものが若い。乾杯の音頭が終るとともに待って、またとばかりに飲むは食べるはウエートレスの給仕間に合わんばかりである。一体彼等彼女等の胃袋はどうなっているのだ。これだけの食欲があればこの先当分大丈夫。高校生活の三年間、それは勉強、体力作りにおいてもお互いにライバルであったはずだ。

各地で開かれる同期会、小中学校そして高校の会合、大学の比ではない。多感な少女時代の時から心身共に大人への移行時代、育つ地域と同じく人によっては幼稚園から高校迄を同じくし兄弟よりも生活する時間を多く共有して来、そればかりが祖父母もそして親も我が子と同じように注意もし、叱りもして地域ぐるみで育てて来た。食べる物も見るとも聞く物も、ほぼ同じくして育つ、価値

親もほぼ同じくってあたりまえ、これまで生活に追われとも他人の事などかまってはおられなかった。

しかし年金生活に入り時間に余裕が出来ることややはり高校時代の友人の身の上事が気になる。六十歳で還暦の記念旅行そして七十歳で古稀の同期会兼記念旅行を頼っていたが実現出来なかった。

今からでも遅くはない。来春には同期生に案内し、二年遅れの古稀を盛大に祝う同期会を開き嫁の悪口良し、近所付き合いの愚痴も良し、孫の自慢結構、息子、娘の自慢話、これ又結構、大いに聞こうじゃないか、不平不満で一杯になった腹にご馳走は入らない。

鱈腹食べ、大いに飲み、そしていい温泉に入り古稀をわずかばかりすぎた体に活力を与え、明日に向って生きよう。そんな会合を企画しようと、知恵を絞る今日この頃である。



山登りの思い出

東京あやめ会 会長 飯田美穂

汗ぬぐう風もさわやか 木曾駒に
登りて出合う ななかまど赤き

あこがれし木曾駒うれし ななかまど
ほのかに見ゆる青き富士山

十年前から登山を始め奥秩父は我が庭
同然。富士山は五回も登り、特に今年
馬返しの一合目より頂上迄好天に恵ま
れ、お鉢廻りも楽しみ乍ら良き想出に。

八月二十五日は木曾駒(二、九五六メ
ートル) 山頂小屋に一泊。翌早朝に宝剣
岳をクサリロープ楔等を使い、目の下は
目もくらむ千仞の谷。息を切らし乍らの
長い尾根道は一面に匍松に覆われ、磊々
(らいらい)と言ひむづかしい漢字が似
合う様な岩の群れが、巨人のおもちや箱
をひっくり返した様に散乱して、し
かもそれが皆白い花崗岩なので、匍松の

緑と相映じて美しい景色を作っていた。

息を切らし乍ら宝剣岳の岩又岩を登っ
て全くの屏風である峰々を踏破して二、
九三メートルの頂上をきわめた時の壮
快は又格別のものです。

来年は白馬岳を目指しております。目
的を持って毎日を過す事はとても張合の
ある事です。

小生は今、ガードマンを七年、六十九
才より給料の大半は登山とふるりに。こ
れが毎日テレビの子守をしていたのでは
駄目です。

夏の暑い日ビルの谷間は大変、冬の寒
い日はほかほか懐炉を背中に、自分乍ら
良くやるよと驚いています。これも小学
生の頃、毎日学校を休んで牛の鼻取りの
お陰と今では父に感謝致しております。
一番残念だったのは五年前に一人で妙高
山に登りクサリ場を過ぎてから二十分

急に豪雨と雷で引き返した事で、あと
十五分もすれば頂上だったと後で聞かさ
れてとても口惜しい想出があります。
三浦敏三さんは百才迄もエベレストに挑
戦、それには日々の訓練が何より大切と
の事、私も少しでも見習って生涯学習の
気持を大切にしたいと思う今日此の頃で
あります。



宝剣岳頂上



富士山頂上

北国街道を

歩いてみませんか

三浦市 杉臣 武（幸町出身）

北国街道を名乗る街道はあちこちにあるが、私にとってのそれは出雲崎から軽井沢迫分まで佐渡の金銀輸送路のことである。初めてこの道を歩いたのは平成十二年のことだった。先日ふるさと交流会で柏原に寄ったが、こも街道の宿場の一つで懐かしい所だ。街道は越後路と信濃路に大別されるが、前者は海と山の自然環境に優れ、後者は情緒のある集落や歴史遺産に優れて甲乙つけがたい。距離も鉄道で二百キロ余だから東海道の半分以下である。江戸幕府の黄金輸送隊はこの道を通り迫分から中山道に入って御金蔵まで全十一日間の旅を続けた。この稿では街道の主な宿場や道中の見聞を紹介して読者の旅心を誘ってみた。

出雲崎 佐渡金銀の陸揚げ地として栄えた。良寛は名主橋屋の跡取りだったが

が経営する割烹旅館、タイの塩焼きの昼食が旨かった。義経伝説の亀割峠を過ぎ米山大橋を横目に山と海辺を上がつたり下ったり。骨は折れるが景色はすばらしい。鉢崎の手前で聖ヶ鼻に行く道も海岸沿いの道も閉鎖されていて国道のトンネルを歩かされるのが難点だ。



青海川旧道入口

百三「出家とその弟子」の舞台。上下浜の温泉ハマナスで潮風に吹かれながら露天風呂で汗を流す。

潟町 街道の海側は砂防林が延々と続く。「小さな蔵の大きな夢」と樽に書いた潟舟の蔵元に出会った。炎天下に生詰の小瓶をラッパ飲みしながら歩いた。

黒井 宿中心の本教寺に芭蕉の句碑があるが寺にも黒井にも無関係の句。

さびしさや花のあたりの翌ならう

春日新田 椎谷・栃尾と並ぶ越後三大馬市があった所。これを始めた博労高浪忠太夫の墓がある。春日神社の参道にはかつてこと沼垂（新潟）を結ぶ北越鉄道の駅があった。長野方面から信越線で直江津にきた客は関川を舟で渡ってこれに乗り換えた。

親の期待に反して出家、おかげで同家は没落したが、いまや名僧の町として家名ともども天下に名高い。良寛堂や記念館、光照寺など見所が多い。尼瀬は日本石油産業のメツカで記念公園は一見の価値がある。芭蕉は出雲崎から佐渡を遠望して「荒海や」の想を得たという。町外れに近い勝見温泉はおばあさんが一人でやっついて湯量豊富、夕日を眺め手作り料理で歓待していただいた。今も健在だろうか。

柏崎 良寛を思慕した貞信尼の墓や日蓮上陸の地、番神堂やえんま堂など見所の多い宿場。右手に日本海、左手に米山を見て歩く。鯨波を経て米山三里の難所を越え鉢崎に至る街道は風光明媚の一語に尽きる。途中上輪の六宜閣は明治天皇

行幸の折り食事を差し上げた庄屋の子孫

鉢崎 柏崎の宿を嫌った芭蕉は出雲崎からここまで疲労困憊の強行軍をして越後嫌いになったみたいだ。聖ヶ鼻の岬の下に関所があり芭蕉の泊まった宿跡の標柱が立っている。

柿崎 バゴダ風の浄善寺に宿を断られた親鸞が枕に使ったという石がある。倉田



杉臣 武さん

高田 関川に橋が無かったのは高田の殿様の城下町繁栄の策略だったらしい。旅人は繁華な港町を横目に川の東岸を稲田まで歩き、橋を渡って城下に入った。天下の妙高山を眺めてもくたびれた足には慰めにならなかつたらう。

新井 今では寂れた商店街も江戸時代は高田の殿様が領内の物価調整の目安にしたという賑やかな町だった。高田の朝市に似た六斎市をひやかして歩く。二本木へ行く途中の小出雲坂は越後見納めの坂として惜別の涙を誘った所。

二本木 小出雲坂を過ぎたあたりから道脇に馬頭観音像が増えてくる。坂道の連続でも馬も難儀したのだろう。

関山 関山神社は見所の多い神社だ。古来なんぼいさんという豊作祈願の妙高登拝の出発地である。いけ込み式という上半身を地上に出した石仏や変わった様式の大仏石もある。旧道を大田切川まで下る途中に清水が湧いている。果の百名水「大田切沢水」で車で汲みに来る人も多い。

関川 この関所は女改めの厳しいことで知られていたそうで、記念館にもそんな人形がある。スノーシエッドの旧十八

号線は地元車しか通らない。柏原まで紅葉の季節に歩くのは気分最高だ。

野尻湖 ナウマン象博物館は一見の価値がある。妙高・黒姫を望む絶景の地。

柏原 一茶の里。旧宅や墓がある。宿内は彼の句碑だらけだ。

古間 柏原と交代で宿役を務めた。信州鎌の産地。

牟礼 古間から国道を突っ切って野道を行く。牟礼の手前の兎玉に幹の頭を切られて太い枝が直角に曲がった変わった樹形の松がある。ここが江戸と加賀の中間点。金銀輸送の中継地でもあった由。十王坂の閻魔像が面白い。

善光寺 牟礼から来る途中の三本松峠は一茶(幼名弥太郎)旅立ちの地。句碑がある。

父阿りて明本の見たし青田原
原池の観音堂は道教的雰囲気で面白い。
この後道は善光寺の大門に通じている。
「かるかやさん」こと西光寺には県下最古という芭蕉の句碑がある。

雪ちるや穂屋のすすきの刈残し

丹波島 長野市街を抜けて犀川を渡る。

明治に橋が架けられるまでは兩岸に張った綱を伝って舟を漕いだという難所。

矢代(屋代) 川中島の古戦場は街道から少し離れている。北原の延命大仏は紙の表面に漆を塗った張り子の仏。篠ノ井の市街を通り千曲川を渡って宿場に入る。

下戸倉 屋代を過ぎると白壁の民家が増えて来る。鋳物師屋・寂時・柏王など由緒ありげな地名も多い。南朝宗良親王ゆかりの柏王神社は崩落危険箇所指定された急傾斜地に建っていて危なっかしい限り。宿場の中心にある坂井名醸は創業四百年の酒屋。竹久夢二がこの酒を愛し、夢二の絵をラベルにした酒を売りそば屋も兼業している。茅葺きの店でウインナルツを聴きながら吟醸酒を飲みそば切りを食べるのも乙なものだ。宿場外れの千曲川畔の万葉公園には五木ひろしが歌った「千曲川」の歌碑がある。万葉超音波温泉という公衆浴場も地元の人話を聞くには絶好の場所だが、石鹸などは自分持ち。

上戸倉 小さな宿場で下戸倉と交代で宿役を務めた。

坂木 戸倉から坂木に来る間千曲川沿い

の街道は明治天皇の北陸行幸まで断崖の中腹を通る所があり、横吹八丁の難所と言われて加賀の殿様もここは徒歩で通った。武田信玄が村上義清の葛尾城を落としたとき、断崖から逃げ落ちて来た奥方たちが川を渡してくれた船頭に筭を与えた故事に因んでこうがい橋という橋が架かっている。坂木には白壁の古い名主や本陣址が残る。

鼠 坂木を出て街道を外れた葡萄畑の中に格致学校という明治の洋風建築の校舎が残っている。宿名のネズミはネコに追われたネズミが山を食いちぎって逃げた民話に由来すること。その岩鼻の険の断崖に押しつぶされそうな格好で会地早雄神社がある。芭蕉句碑や万葉歌碑などがあつてにぎやかだ。この先の塩尻や秋和は白壁や土蔵・土塀が連なつて風格のある集落だ。かつての養蚕王国の名残である。

上田 六文銭の旗印真田一族の城下町。上田城には天守閣がなかった。今残っている櫓は明治の廃城で遊郭に売り飛ばされたが、大戦中に市が譲り受けて復元した。真田太平記館では作者池波正太郎の自作のすばらしい年賀状を見ることができ。市街を抜けると信州大学繊維学部、その先の国分寺址を経て海野宿に入る。

海野 海野は昔ながらの宿場の雰囲気を残す町として観光客に人気があるが、白壁・格子戸の雰囲気は手前の大屋や西海野から濃厚になる。西海野などは観光客がない分静かで昔の旅人気分が味わえる。こういう雰囲気は残念ながら越後路にはない。宿場外れの白鳥神社は木曾義仲卒の地として知られる。



本海野

田中 海野と交代で宿役を務めた。田中の先の牧野に力士雷電の碑がある。彼はこの近くの大石で生まれた。幕内二五四勝一〇敗、佐久間象山の筆になる石碑は削られてぼこぼこだ。これでは困ると山岡鉄舟などが同じ物を隣に立てたがこちらは人気無く原型を保つ。

小諸 浅間山を眼前に見る旅情豊かな町。小諸城の大手門・三の門や本陣・問屋場の建物ばかりではなく町全体に漂う情緒が良い。味噌工場・太鼓店、庵看板の商家、藤村が勤めた小諸義塾に「惜別の歌」の碑があった。藤村が歌ったのは師を慕う妹の心情だが、戦時下の学生は出陣する友を送る歌として改作し密かに歌って世に広めた。藤村が通った一膳飯屋の揚羽屋で揚げ出し豆腐を肴に浅間嶽の濁り酒を飲んで文学青年の気分を味わう。

追分 小諸を過ぎると十石峠に続く登り道。かつての北国街道より大分高い所を行く。峠を過ぎて馬瀬口の長泉寺は神社か本堂がよく分からない建物で石仏や馬の像がある。その奥へ大分入った柵口神社はマセグチと読む。このあたりは牧場だったのだろう。交通量の多い追分原から少し歩けば分去れに着く。観光写真でおなじみの石灯笼や子どもを抱いた石仏に一里塚。ここが終点でこの先江戸までは中山道を通る。追分の宿に入ったら何はともあれ泉洞寺に行こう。ここには堀辰雄が愛したお地藏さんが待っている。衆生を救う前に歯医者に連れて行ってもらいたいと訴えているようなしなかつ面のお地藏さんだ。



歯痛地藏さん

百周年を迎える新潟県人会

百年前までは新潟県が日本一

かつては海運の主流は日本海航路を通る北前船でした。新潟はその海運の一大集散地であり、全国一の港でした。

今から百十一年前の明治三十一年に東京に抜かれるまでは、新潟県の人口が全国で一番多く、豊かな地域でした。東京新潟県人会のルーツの『北陸親睦会』が創立したのは、百三十年前になります。このときの新潟県の人口は百五十五万人で東京は九十六万人でした。新潟の人口は東京の一、六倍もある大変に元気だった時期に新潟県人会が発足したことになります。

最近、函館港を加えた五都市が連携して「日本開港五都市観光協議会」が結成されています。港も新潟が一番だったのです。

東京人の三割は新潟県人？

Jネットと県人会

明治二十一年からの三十年間だけでもおよそ五十万人の新潟県人が東京へ移動したと思われます。この時点で、東京の人口の十五パーセントは新潟県出身者でした。その後の金の卵と言われ集団就職列車での大量の上京者を考えると、かなりの新潟県出身者が東京に在住していることになりました。ですから、今、東京に住んでいる人の先祖を四代遡ると三割の人が新潟県人に行きつくと言われていす。

ですから、Jネットの会員の皆様は東京湯島にある新潟県人会館の施設の利用が出来ます。

会議室やホール、宿泊施設などのご利用を希望される方はJネット事務局へご連絡ください。



朱鷺メッセ

百周年記念事業

東京新潟県人会では、新潟県と共同で、左記の事業を行います。

○創立百周年記念式典

期日 平成二十一年一月三十一日(土)

場所 グランドプリンスホテル新高輪

毛利衛さんの講演があります。

○新潟県人会と県民の大交流祭

期日 平成二十一年九月二十五日

(土)・二十六日(日)

場所 朱鷺メッセ(新潟市)

新潟大物産展、大交流会、オペラ「タ鶴」、米村でんじろうサイエンス教室、エコ・カーが当たる「大抽選会」など盛り沢山の行事が計画されています。

東京新潟県人会

東京新潟県人会のルーツは、一八八〇年(明治十三年)新発田出身の大倉喜八郎、前島密、石黒忠恵らと開いた北陸親睦会とあります。

東京新潟県人会として発足したのは、一九一〇年(明治四十三年)というから、来年が丁度百年目にあたります。

その後ダイヤモンド社の創立者である石山賢吉氏ら歴代会長役員のご努力により今日の隆盛を迎えています。

現在の平会長が丁度十代目で、歴代の会長を列記すると左記のようになりま

- ①大倉喜八郎氏
- ②大倉喜七郎氏
- ③石山賢吉氏
- ④芳沢謙吉氏
- ⑤石山賢吉氏
- ⑥加藤清二郎氏
- ⑦小沢辰男氏
- ⑧米山稔氏
- ⑨米山一氏
- ⑩平辰氏

新潟港は全国一の港

(編集部)



学校法人関根学園

関根学園高等学校 百年のあゆみ

活動の基本とし、特色ある私学として地域に信頼され、愛され、貢献する関根学園であり続けるよう努力します。

関根学園は、本年、創立百周年の節目の年を迎えました。十一月一日(日)に上越文化会館で記念式典と記念講演会を開催し、一千名を超える参加者で百周年を祝いました。その後会場を料亭やすねに移し盛大に祝賀会が行われました。記念講演会ではスポーツジャーナリストでテレビ解説でも有名な増田明美さんから「自分という人生の長距離ランナー」というテーマで御講演をいただきました。十一月一日は、百年の歴史に感謝するとともに、新たな出発を確め合う貴重な一日となりました。

創立者で初代校長関根萬司先生が心血を注ぎ私立技芸専修学校を開学されてから一世紀。七十周年、八十周年記念誌には、関根先生は裁縫技術の修得や小学校教員の資格検定試験に合格させるために厳しく教育され、生徒もそれに応えたこ

とが記されています。その後、幾多の校名の変更や学科の改廃、校舎の移転改築など幾多の困難を乗り越え、現在は金谷山麓の校舎に六百名を超える生徒が集う学校となっています。文武両道の活躍により、地域からは確かな私学として信頼され進化を続けています。これもひとえに、二万一千有余名の同窓生の活躍、在校生の活躍、歴代の理事長、学校長をはじめ先輩教職員の御努力並びに地域の方々をはじめ関係各位の御支援のお陰によるものと感謝しています。

二〇数年、保護者や兄弟が卒業生であつたり、親戚に卒業生がいたりするなど何らかの形で関根学園と関わりを持つる生徒が各クラスに十人以上在籍しています。地域に育てていただいた今までの百年に感謝し、これからの百年も生徒一人ひとりを大切にすることを全ての教育



当日の上越文化会館



記念式典



記念講演

講師増田さんと陸上部キャプテンの和田君



東京支部長の徳田さん(右)

東京支部長代表幹事杉田さん(中央)



記念祝賀会 木遣りでスタート

100年のあゆみ

明治41年7月25日 私立女子技芸専修学校として設立認可
 明治42年4月1日 開学、関根廉司先生初代校長として就任
 明治44年4月1日 関根裁縫女学校と改称し、高田市大町2丁目に校舎新築
 昭和5年11月15日 高田高等裁縫女学校と改称
 昭和19年3月31日 財団法人に改組、高田高等実業女学校と改称
 昭和19年7月24日 高田南徳女子商業学校と改称
 昭和21年3月31日 高田高等実業女学校と校名復帰
 昭和24年4月1日 高田和洋女子専修学校設置
 昭和26年2月27日 学校法人に改組
 昭和27年4月1日 高田女子実業高等学校設置

昭和33年10月29日 創立50周年記念式典
 昭和34年4月1日 被服科に加えて普通科設置
 昭和37年4月1日 高田市大真に男子部設置、それに伴い高田北辰高等学校と改称
 昭和40年4月1日 女子部に保育科、商業科を設置
 昭和46年4月1日 男子部独立し高田北辰高等学校 女子部を高田中央女子高等学校と改称
 昭和47年8月31日 高田中央女子高等学校木造校舎を鉄筋4階建及び体育館を鉄骨建に改築

昭和53年4月1日 高田北辰高等学校と高田中央女子高等学校を統合し関根学園高等学校と改称
 昭和54年10月31日 創立70周年記念式典
 平成元年4月 上越市大真1325-11に新校舎完成
 平成元年10月7日 創立80周年記念式典
 平成6年3月31日 新グラウンド完成
 平成11年11月20日 創立90周年記念式典
 平成14年8月29日 多目的室その他増築工事完成



高田高等裁縫女学校
(裁縫女学校 校舎)



高田女子実業高等学校 高田北辰高等学校(女子部)
(北辰高校 校舎)



高田中央女子高等学校 (昭和53年4月~)
関根学園高等学校(西城校舎) (中央女子 校舎)



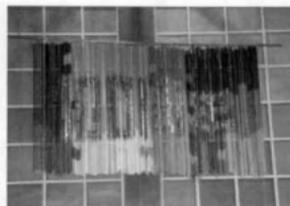
高田北辰高等学校(男子部) 関根学園高等学校(金谷校舎)
(関根学園 校舎)



100周年記念事業 校舎改築 平成22年12月完成予定
(完成パーツ)



100周年記念 体育祭
平成21年6月12日実施



100周年記念 学園祭
平成21年10月24,25日実施
折り鶴(17000羽)をアートを全校生徒で作成



関根学園高等学校(平成元年4月~)
(航空写真)

「天地人」ゆかりの 山形県で開催

島藤 大滝恵三（大手町出身）

総会、宿泊地は赤湯温泉で

平成十一年、約一世紀の歴史に幕を閉じた上越学生寮は翌年、寮在籍者による上越寮友会が発足、本年十周年を迎えた。昨年の定期総会で「第十回の記念総会は大河ドラマ・天地人の舞台となっている米沢周辺での開催」を提案した私が企画を任された。そして最終的に決めた開催地が、総会の開催、宿泊地は米沢から十数キロの南陽市赤湯温泉、翌日は米沢市内「天地人」ゆかりの地を巡る旅とした。

十月十六日（金）、十七日（土）の二泊二日、出席者は首都圏から十二人、上越市から八人、インターネット会員では理事の杉匠武さん、元監事の水嶋晃さんなど五人。山形新幹線・赤湯駅に昼頃集合、旅館のマイクロバスで南陽市内を巡りながら赤湯温泉に向かう。最初に寄ったのが夕鶴の里。これについては十月の「お元氣ですか」の杉匠さん連載の徒然草道で紹介されているので省略。次は日本三熊野の一つ熊野大社。四百余年前の熊野宮の立て替えに直江兼続が関与し、米沢城の鎮守として大切に守られてきた。最後に、継ぎ目の無い一本石のものでは高さ十・七五mと日本一大きい烏帽子山八幡宮の大鳥居を拝観して三時過ぎ「湯宿升形屋」に到着。この宿は源泉かけ流しと閑静な庭園が自慢の純和風旅館。赤湯温泉は開湯九百十六年、上杉家の御殿湯や湯治場として古い歴史を持つ。寛治七年、八幡太郎義家の弟義綱が草刈八幡のお告げにより発見、その湯に戦で傷ついた兵士を入れると、たちまち傷は治り、温泉は傷からの血で深紅に染まったといわれ、それが赤湯の言われという。

三時半からの総会は滞りなく終了後、恒例のOB卓話。講師は当会会長で国際弁護士として活躍中の松枝迪夫さん。去る三月十六日、日本テレビの人気番組・ミヤネ屋に電話出演、日本と欧米の契約観について語っていたものと同趣だが、その録音したビデオ上映の後、それについて講演した。

OB卓話 日本人には「契約」はない？

この間の米国の金融危機の時、公的資金を受けた大企業（AIGなど）が経営者らに莫大なボーナスを支払っていたことが判明した。オバマ大統領が激怒した様がテレビで流された。私はこの米国の流儀についてミヤネ屋の番組でコメントを求められ、ここに書くような話を話した。

日本の社会は基本的に人情で動き、契約で決めたら是が非でも守るという意識は薄い。事情変更ということで気軽に変更を頼む。それに応ずるのも日本人の良きで、太っ腹、清濁併せ呑む人となる。拒否すると、不人情で分からず屋と逆恨みされかねない。欧米人は、契約は神との約束、契りと考えるから軽々しく変えないし、変えなくとも当然視される。欧米も契約を破るが、もつともらしい（神様にも叱られない）理屈を用意するのである。海外取引では長い交渉をした結果

を分厚い契約書にする。契約は交渉の終着点だからだが、日本人や中国人は今後の出発点とみる。だから「何事も協議する」という一行で足るのである。



大滝 恵三さん

上越と鶴岡市 米沢市の見所を見学

翌十七日も旅館のマイクロバスで八時五十分出発、米沢へ。途中沿道には山形特産の鈴なりのラ・フランスが方々に、また赤く実ったりんごもちらほら。米沢とのほぼ中間の亀岡文殊堂に寄る。日本三大文殊というだけあって大きくて立派。奉納詩歌百首が秘蔵され、その中には兼続や弟の大因実頼の詩歌も残されているという。

十時に米沢城址に着く。天地人の舞台が前週から米沢になったことと、土曜日のせいか団体も含め非常に混んでいる。十二時まで自由行動だが、まず全員で上杉博物館内の天地人博に入場。兼続が

目にし、手にしたと思われる数々の文化財、これらのコレクションによって語られる兼統の実像と、ドラマ世界で描かれる兼統の姿。これらの展示室をぬけると米沢の歴史展示コーナー。必見の国宝「上杉本洛中洛外図屏風」があった。織田信長が上杉謙信に贈ったもので、左右が七m三十cmもあり、京の市街地（洛中）と郊外（洛外）を高い視点から描いている。次は上杉謙信を祭神とし、本丸跡に建てられた上杉神社、謙信、景勝、鷹山、兼統の遺品などを収蔵する稽照殿、謙信、景勝、鷹山を祭神とし、兼統の功績を讃えて合祀した松岬神社を見学、土産処・上杉城史苑で買い物。昼食は置賜地方名物の日本そばで舌鼓を打つ。午後はまず兼統の治水事業・直江石堤、最上川の氾濫を防ぐため、一、二キロに及ぶ石積み堤防。次は林泉寺。上杉家の移封に伴い会津、米沢に移転。藩主の奥方、子女や重臣、兼統・お船夫妻の墓がある。最後は上杉家廟所。米沢藩主代々の墓所。正面の上杉謙信公の墓に最敬礼して旅は終了。



知恵が授かる？ 亀岡文殊堂前



米沢城址の上杉神社前

上越の高等学校

高田農業高等学校

〒九四三・〇八三六

上越市東城町一・四一四十一

TEL.〇二五・五二四・二二六〇

明治三十二年 新潟県中頸城郡立高田農
学校として発足

昭和二十三年 新潟県立高田農業高等学
校と改称

校と改称

高田南城高等学校

〒九四三・〇八三七

上越市南城町三・三一八

TEL.〇二五・五三二・七六七二

昭和四十三年 定時制課程独立校として
開校

昭和四十八年 通信制課程開校

上越総合技術高等学校

〒九四三・八五〇三

上越市本城町三・一

TEL.〇二五・五二五・一一六〇

大正五年 新潟県高田市立商工学校とし
て発足

昭和二十三年 新潟県立高田工業高等学
校と改称

直江津高等学校

〒九四二・八五〇五

上越市西本町四・二二一・一

TEL.〇二五・五四三・一三二五

明治四十三年 中頸城郡立直江津農商学
校設立

大正十三年 直江津町立実科高等女学校
設立

昭和二十三年 新潟県立直江津女子高等
学校と改称

昭和二十五年 直江津女子高等学校と直
江津実業高等学校を統合し、新潟県立直
江津高等学校と改称

昭和二十九年 工業科を新潟県立直江津
工業高等学校へ移籍

平成十九年 新潟県立直江津中等教育学
校設立

私達がふる里を離れてから、多くの市町村合併を見してきました。これに伴い多くの高等学校が誕生、統合、名称が変わり、新しい高等学校体系となりました。遠くふる里を離れている私達には、その変遷がどの様なものかはつきり理解できないで居りました。市役所のご協力で上越地区の高等学校をまとめましたので、参考にして頂ければ幸いです。

高田高等学校

〒九四三・八五一五

上越市南城町三・五一一五

TEL.〇二五・五二二・一一五一

明治七年 公立新潟学校第四分校として

開校

明治三十九年 高田中学校糸魚川分校を

開校

高田北城高等学校

〒九四三・八五二五

上越市北城町二・八一

TEL.〇二五・五二二・一一六四

明治三十三年 新潟県立中頸城郡立高田
高等女学校として発足

昭和二十三年 新潟県立高田女子高等学
校と改称

昭和二十五年 新潟県立高田北城高等学
校と改称

昭和五十年 普通科における男女共学実
施

高田商業高等学校

〒九四三・八五五〇

上越市大字中田原九〇・一

TEL.〇二五・五三三・二二七一

大正五年 市立新潟県高田商工学校とし
て発足

昭和二十三年 新潟県立高田商業高等学

安塚高等学校

〒九四二-〇四一

上越市安塚区下方二二九

TEL 〇二五五九-二二〇二七

明治四十四年 東頸城郡立安塚農業学校として開校

昭和二十三年 新潟県立安塚農業高等学校と改称、松之山分校が設置

昭和二十四年 新潟県立安塚高等学校と改称

久比岐高等学校
〒九四九-一三二六
上越市柿崎区柿崎七〇七五
TEL 〇二五-一五三六-一三七九
FAX 〇二五-一五三六-一六〇一一
平成十八年 新潟県立久比岐高等学校新設

上越高等学校

〒九四三-〇八九二

上越市寺町三一五、三八

TEL 〇二五-一五四-一四九

明治二十七年 女子縫裁学校として創立
昭和二十三年 高田家政高等学校と改称
昭和三十六年 高田女子高等学校と改称
昭和五十七年 上越高等学校と改称

有恒高等学校

〒九四四-〇一三一

上越市板倉区針五八三-一三

TEL 〇二五五-一七八-二〇〇三

明治二十九年 私立有恒学校として開校
昭和二十六年 板倉村立有恒高等学校(定時制) 開校
昭和二十九年 私立有恒高等学校及び町立有恒高等学校を新潟県に移管し、新潟県立有恒高等学校となる

新井高等学校

〒九四四-〇三二

妙高市田町一-一十一

TEL 〇二五五-一七二-四一五

明治四十四年 郡新井農学校設立
大正十三年 町立新井実科女学校創設
昭和二十三年 新井農学校・新井高等学校を統合し、新潟県立新井高等学校と改称

置

昭和四十六年 男子部が独立し高田北辰高等学校

女子部を高田中央女子高等学校と改称

昭和五十三年 高田北辰高等学校と高田中央女子高等学校を統合し関根学園高等学校と改称

昭和四十六年 男子部が独立し高田北辰高等学校

女子部を高田中央女子高等学校と改称

昭和五十三年 高田北辰高等学校と高田中央女子高等学校を統合し関根学園高等学校と改称

昭和二十三年 新潟県立糸魚川高等学校と改称

昭和二十五年 新潟県立糸魚川女子高等学校と合併

昭和二十三年 新潟県立能生水産高等学校と改称

糸魚川白嶺高等学校

〒九四一-〇〇六三

糸魚川市清崎九-一

TEL 〇二五-一五五二-〇〇四六

昭和三十六年 糸魚川高等学校より分離独立し、新潟県立糸魚川商工高等学校となる

平成十年 新潟県立糸魚川白嶺高等学校と改称

海洋高等学校
〒九四九-一三二二
糸魚川市能生三〇四〇
TEL 〇二五-一五六六-三二五五
明治三十二年 能生町立能生水産補修学校開始

昭和二十三年 新潟県立能生水産高等学校と改称

平成五年 新潟県立海洋高等学校と改称

昭和二十三年 新潟県立能生水産高等学校と改称

(編集部)

昭和二十三年 新潟県立能生水産高等学校と改称

ふるさと便り

―「上越タイムス」の記事より―

文学碑で地域活性 芭蕉の句碑再建

(八月)

三八朝市周辺まちづくり協議会は中央三丁目の琴平神社境内に松尾芭蕉の句碑を再建した。

再建された句碑は「奥の細道」で直江津を訪れた時詠んだ「文月や六日も常の夜には似ず」が刻まれている。元々は江戸時代に建立されたが火災で焼け、幕末に再建されたものも、風雪で読めなくなっていた。この碑を手始めに、直江津ゆかりの文学碑四基をこの周辺に設置し、文学や拓本で町の活性化を図る計画です。



謙信公祭開幕

(八月)

第八十四回「謙信公祭」が春日地区で開催された。総勢五百人の「出陣行列」が春日山史跡から春日山史跡公園まで行進した。続いて特別イベント「天地人」パレードに上杉景勝を演じた北村一輝さんが出演。山麓線沿道には住民、観光客など大勢陣取り謙信の城下町・春日山が熱く燃えた。夜には「川中島の戦い」が演出され、木浦市長が謙信役、姉妹都市上田市から上田城甲冑対と子供十勇士が参加、上田市長が真田幸村役を務め大歓迎を受けた。



糸魚川ジオパークが世界認定された

(八月)

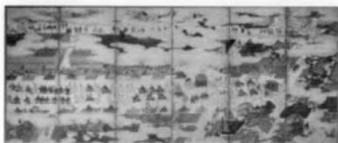
糸魚川ジオパークは、五億年にわたる様々な時代のも様な岩石・地層、日本を二つに分ける「糸魚川静岡構造線」と「フオッサマグナ」が見どころで、ヒスイや断層、塩の道など、人に関わるテーマの豊富さが認められての認定である。



大発見 秀吉建立の聚楽第を描く屏風

(九月)

豊臣秀吉が建てた政庁兼邸宅である聚楽第に、後陽成天皇を招いた様子を描いた「御所参内・聚楽第行幸図屏風」六曲一双が上越で発見され、一般公開された。聚楽第は八年しか存続せず描かれている屏風も二例しかない。製作は千五百八十八年から千六百十四年までと考えられ、美術的にも貴重なものと云われている。



妙高山麓時代まつり 関所の往来を再現

(九月)

妙高山麓時代祭「関川関所祭り」が妙高市の関川関所・道の歴史館で開かれた。この関所では越後の玄関口として、又参勤交代や佐渡から金の通り道のため、厳重な取り調べが行われたとのこと。



高田別院の「おたや」 (十月)

寺町二丁目の高田別院で、「おたや」が地元の協力で手作り屋台がずらりと並び昔懐かしい雰囲気を見せていた。親鸞聖人の遺徳を偲ぶ高田別院「報恩講」の地域行事である。一時は途切れ、又昔ほどのお店の数ではないが、四年前に復活大いに賑わっていた。



見学会 旧第四銀行高田支店

(十月)

本町三丁目に大きく構えている旧第四銀行高田支店は昭和六年に百三十九銀行本店として建設され、昭和十八年第四銀行へ移譲された。市内で最も古い鉄筋コンクリート建築物の一つで今年六月まで親しまれていた。建物の寄付を受けた市では歴史的建造物活用検討会で活用方法を検討中である。歴史の香りを感ずる見学会であった。



中部電力 上越火力発電所

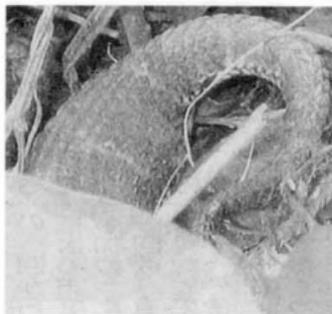
(十月)

直江津港の発電所建設地で、巨大なガスタービンと発電機の荷揚げと設置作業が行われた。LNG（液化天然ガス）を燃料とするガスタービンと蒸気タービンを組み合わせたコンバインドサイクル発電方式を採用。世界最高水準の高効率、燃料消費量とCO₂排出量を低減した環境への配慮がなされている。平成二十四年に運転開始の子定。

幻のツチノコ発見か？

(十月)

幻のツチノコ探しを通し糸魚川市で地域おこしを実践しているツチノコ探検隊に「木浦でツチノコらしい生きものを撮影した」と一報が入った。「もしかして」と色めきだっている。遠くから望遠で撮ったものだが、蛇のような生きもの、色は黒っぽく、ウロコもくつきり。特徴は尾に近い部分が極端に膨らんでいる点だ。毎年の探検は四年続いているが、これも空振りに終わっている。



上越市長選挙 村山氏が当選

(十月 十一月)

上越市長選挙は十月二十五日に投票が行われ、前副市長の村山秀幸さんが当選。十一月十日に新市長として初登庁した。玄関で花束を贈られ、「一緒に二十一万市民のために頑張ります」と第一声を述べた。



高田農業高校 創立百周年を迎えた

(十一月)

明治三十二年に中頸城郡立高田農業高校として発足。その後学校名の変更、学科の改廃を経て県内有数の伝統校として歴史を重ね、一万五千人を超える人材を送り出してきた。



木浦前市長 感謝の言葉で退庁

(十一月)

二期八年を勤め上げた木浦正幸前市長「議会、市民、職員にお世話になり、無事にたどり着くことが出来た。これも全て皆さんのお陰」と感謝の言葉を述べ退庁された。



花街文化を伝える田端まつり (十一月)

料亭・宇喜世で「田端まつり」が華やかに催された。田端は仲町のかつての町名。鮮魚市場、卸のまち、そして陸軍入城・軍都が形成され事もあって、昭和に入ると仕出し屋や割烹が誕生し、多くの芸妓さんで華やき大いに栄えた。今再び芸妓さん達が昭和の良き時代の再現のために、粋につやかに舞っていた。



春日新田小学校 学校給食甲子園で優勝

(十一月)

学校給食甲子園大会は、地場産の食材を活用し、美味しさや栄養価、調理家庭、衛生管理などを審理する全国大会。全国の学校や給食センターなど千五百五十二校の応募から選ばれた十二校で競った。優勝したのは、タマネギ、トマト、ピーマン、チーズの入った卵焼き「タマタマトマピーチーズ焼き」、ホウレン草とレソンの「ゴマネーズ和え」「打ち豆みそ汁」など七品を作った春日新田小学校。「タマタマトマピーチーズ焼き」のレシピを紹介します。



材料名	分量	単位	作り方
たまご	40		1. 玉ねぎは8つ割りスライス、トマトは8mm厚さの小さな(2cm位)のいちょう切り、ピーマンは3cmの細切にする。トマトの種を除く。
たまねぎ	10		
トマト	15		
ピーマン	3		
プロセスチーズ	10		2. 卵にマヨネーズ・塩・こしょう・玉ねぎを混ぜて釜で半熟程度のいり卵にする。
塩/こしょう	0.1	0.01	
ハーブマヨネーズ	2		3. 2の卵に他の材料を混ぜ、クッキングシートをひいた天板に平らに入れる。
			4. 230℃のオーブンで7～9分焼き、切り分ける。

「青田川のうたーあそびにおいて」

(十一月)

「青田川を愛する会」が募集していた「青田川のうた」が発表された。近く上越教育大学の先生の作曲で歌になる。

青田川のうたーあそびにおいて

北山武志 作

- 一、あそびにおいてよ 青田川
堤後にゆきやなぎ お城の町のむかしから 今がいな 花のころ
- 二、あそびにおいてよ 青田川
ふみ石こんでふれてみる 木立のかけも七色に 今がいいな 水のいろ
- 三、あそびにおいてよ 青田川
みんながそとと燃えてる 流れはわかれ惜しむよに 今がいいな 夕紅葉
- 四、あそびにおいてよ 青田川
こんもり中洲細ぼうし お籠屋の灯りともるころ 今がいいな 雪景色

きらきら きらきら きらきら



オギ 荻(イネ科) 紹介

(十一月)

ススキのように見えますが、全く別の植物。ススキはやや乾燥気味の所に生えますが、オギは窪地など水分湿った所が好きです。東京の荻窪と言う地名は盆地で、オギが茂っていた事からの名前と言います。ススキより葉が幾分広いこと、穂が白く美しいことで区別が出来ます。越後ではマユミガヤと呼ばれ雪囲いの簀(す)にも利用します。



直江津駅周辺で大収穫祭 (十一月)

「うまさぎつしり 上越秋の大収穫祭」が直江津駅周辺で開かれた。SLの運行、ふるさと物産展、うまいもん市などで、鉄道のまちは賑わった。直江津ー長岡間を走ったSLの勇姿、汽笛、煙にファンは大喜び。



謙信に天地人放映 無事終了を報告

(十一月)

「天地人」最終回の翌日、イメージキャラクター「謙信くん」が林泉寺を訪れ謙信の墓前で無事終了を報告した。



桑取り川でサケそじピーク (十一月)

桑取り川河口には大勢の人が訪れ、必至に川を上るサケ、投網でのサケ漁の光景を見物していた。今年は一万匹の捕獲を目指している。



霜鳳 勝ち越し 大相撲九州場所

(十一月)

新井生まれて高田農業高校出身の霜鳳。

千秋楽、押し相撲の垣添と先手争い。うまく二本差されて両差しを許すが、霜鳳も両上手をがちりと引く。相手の動きを阻止め、両上手を引きつけて力強く寄り切った。二場所ぶりの勝ち越し。「ホットしています。先場所より状態が良かった。巡業中に体をちやんと鍛えて、いい相撲取りたい」と来場所の抱負を語った。



ふるさと市場

販売通信カタログ（平成21年秋号）

※会員の方は送料無料です

【14】 桑取 Jネット米

【6】

【7】 こしひかり

【8】 淡雪米

【9】 新米

【5】 ふきの田んぼの米

【13】 有限栽培 新米

【11】 上越産コシヒカリ100% 恵みっ子

【10】 ほっかほか

【3】 米本陣

【4】 清里産

【2】 頼米

【12】

■お問い合わせ

ふるさと上越ネットワーク
東京事務所
電話 03-6415-6277

■注文方法

「お米」「上越商業サービス公社さん扱い」の商品とも、注文先は、【Jネット事務局】です。ご請求は、商品発送後、【品代のみ】各販売業者さんからご注文の会員の方へ送ります。送料はJネットで負担しますのでご注文の皆さんにはかかりません。

上越米

通信販売カタログ（平成 21 年秋号）

おいしい新米をどうぞ！

米山山地、東頸城丘陵、関田山脈、南葉山地、西頸城山地など、上越市をとり囲む山々からの雪解け水で育まれた上越のお米。上越地域では、米を栽培するにあたって、農薬や化学肥料を減らす取組に、地域一丸となって取り組んでいます。上越のお米は、ふるさとかからお送りする安全・安心なお米です。

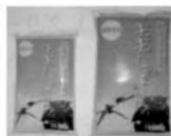


【1】（財）大島農業振興公社（大島区）

代表者 中條勝夫

住所上越市大島区牛ヶ鼻 2649（〒942-1215）

電話 025-594-2856 F A X 025-594-2860



商品番号	商品名	内容量	価格（税込）
①	おおしま育ち 白米	5 kg	2,800円
②	おおしま育ち 白米	10 kg	5,600円

- 1 品種 コシヒカリ（100%）
- 2 栽培方法 3割減農薬・3割減化学肥料・除草剤使用1回
- 3 品質 一等級
- 4 食味 食味良好
冷めてもおいしく、お弁当に最適
- 5 その他 栽培の履歴有り

【2】（財）牧農林業振興公社（牧区）

理事長 中川耕平

住所 上越市牧区柳島 482-1（〒943-0647）

電話 025-533-6763 F A X 025-533-6805



商品番号	商品名	内容量	価格（税込）
①	農薬・化学肥料を3割減らして栽培された米 牧産コシヒカリ 100%	5 kg	2,800円
②	玄米の栄養分が残っている米 （ビタミンB1・E、ミネラル等） 牧産コシヒカリ 100% 7分づき	5 kg	2,800円
③ ※	こしが強く、餅にするとよく伸びるもち米 牧産こがねもち 100%	5 kg	2,800円

- 1 品種 コシヒカリ（100%）
- 2 栽培方法 3割減農薬・3割減化学肥料・除草剤1回使用
- 3 品質 一等級
- 4 食味 香りが良く、食味良好
- 5 その他 栽培の履歴有り

- ※ 1 品種 こがねもち（100%）
- 2 栽培方法 慣行栽培 除草剤1回使用
- 3 品質 一等級
- 4 食味 こしが強く、食味良好
- 5 その他 栽培履歴あり《限定24個販売》

【3】味の謎蔵（特選米販売部）（三和区）

代表取締役 石塚 賢

住所 上越市三和区大 867-1 (〒 943-0314)

電話 025-532-4226 F A X 025-532-4189



商品番号	商品名	内容量	価格(税込)
①	さんわ産純粋コシヒカリ	5 kg	3,300円
②	さんわ産純粋コシヒカリ	10 kg	6,000円

1 品種 コシヒカリ (100%)

2 栽培方法 慣行米

3 品質 一等級

4 食味 完全鶏糞を主体とした土づくりにより食味指数の高いお米だけを精米直後に皆様にご購入戴いております。たくさんの方からとても美味しいと賞賛戴いております。

【4】(有)グリーンファーム清里（清里区）

代表取締役 保坂一八

住所 上越市清里区上田島 122 (〒 943-0504)

電話 025-528-4270 F A X 025-528-4270



商品番号	商品名	内容量	価格(税込)
①	清里産コシヒカリ	5 kg	2,400円
②	新潟県認証 特別栽培米 清里産コシヒカリ	5 kg	2,800円

1 品種 コシヒカリ (100%)

2 栽培方法 慣行米・5割減農薬・減肥料米

3 品質 一等級

4 食味 最良

5 その他 J G A P (生産管理工程) 認証取得により栽培の履歴有り

【5】(有)名立テクニカルファーム（名立区）

代表取締役社長 高宮靖之

住所 上越市名立区瀬戸 751-3 (〒 949-1625)

電話 025-538-2821 F A X 025-538-2821



商品番号	商品名	内容量	価格(税込)
①	名立のコシヒカリ (白米)	5 kg	2,500円
②	名立のコシヒカリ (白米)	10 kg	5,000円

1 品種 コシヒカリ B L (100%)

2 栽培方法 3割減農薬・3割減化学肥料

3 品質 一等級

4 その他 栽培の履歴有り

【6】(農)大潟ナショナルカントリー（大潟区）

代表理事 竹田香苗

住所 上越市大潟区潟田 581-1 (〒 949-3121)

電話 025-535-1126 F A X 025-534-2671



商品番号	商品名	内容量	価格(税込)
①	J A S 認証・新潟県認証 特選コシヒカリ	5 kg	2,900円

1 品種 コシヒカリ (100%)

2 栽培方法 減農薬・除草剤使用1回

3 品質 一等級 J A S 認証 新潟県認証

4 その他 栽培の履歴有り

【7】(有)朝日池総合農場(大潟区)

代表取締役 平沢栄一

住所 上越市大潟区内雁子 252-1 (〒949-3135)

電話 025-534-5955 F A X 025-534-5956

商品番号	商品名	内容量	価格(税込)
①	NPO法人 赤トンボ認証 J A S・有機栽培米コシヒカリ100%	5 kg	3,500円
②	新潟県認証栽培米コシヒカリ100%	5 kg	2,900円

1 品種 コシヒカリ(100%)

2 栽培方法 有機米・除草剤未使用

3 品質 一等級 NPO法人 赤トンボ認証 J A S 認証

4 食味 良食味

1 品種 コシヒカリ(100%)

2 栽培方法 減化学肥料・減農薬・除草剤使用1回

3 品質 一等級 新潟県認証

4 食味 良食味



【8】柿崎雪むろ利用組合(柿崎区)

代表者 榎井辰雄

住所 上越市柿崎区馬正面 1012-乙 (〒949-3214)

電話 025-536-4453 F A X 025-536-6116

商品番号	商品名	内容量	価格(税込)
①	新潟県認証 コシヒカリ	5 kg	3,200円
②	新潟県認証 コシヒカリ(雪中貯蔵米)	5 kg	3,450円
③	新潟県認証 コシヒカリ(雪中貯蔵・無洗米)	5 kg	3,500円
④ ※	慣行栽培 コシヒカリ	5 kg	2,500円
⑤ ※	慣行栽培 コシヒカリ(無洗米)	5 kg	2,550円

1 品種 コシヒカリ(100%)

2 栽培方法 減化学肥料・減農薬

3 品質 一等級 新潟県認証

4 食味 良

5 その他 栽培の履歴有り

雪中貯蔵・無洗米(商品により一部異なります)

※ 1 品種 コシヒカリ(100%)

2 栽培方法 慣行米

3 品質 一等級

4 食味 良

5 その他 栽培の履歴有り(商品により一部異なります)



【9】頸城建設(株)不動農産部(浦川原区)

代表取締役社長 小池保信

住所 上越市浦川原区下猪子田 95-3 (〒942-0303)

電話 025-599-2216(フリーダイヤル 0120-59-8343) F A X 025-599-2364

商品番号	商品名	内容量	価格(税込)
①	NPO法人 赤とんぼ認証 J A S有機栽培米コシヒカリ ハサ掛け	1 kg	1,600円
②	NPO法人 赤とんぼ認証 J A S有機栽培米コシヒカリ	5 kg	6,000円
③ ※	有機肥料による化学肥料を使わない減農薬 コシヒカリ(特別栽培米)	5 kg	2,600円

1 品種 コシヒカリ(100%)

2 栽培方法 有機栽培米・無化学肥料・無農薬

3 品質 一等級 NPO法人 赤とんぼ認証 J A S 認証

4 食味 良冷めてもおいしい

5 その他 栽培の履歴有りハサ掛け天日乾燥(一部商品)

※ 1 品種 コシヒカリ(100%)

2 栽培方法 有機米・無化学肥料・8割減農薬

3 品質 一等級

4 食味 良冷めてもおいしい

5 その他 栽培の履歴有り



◆ いずれの商品も、ご注文により1Kg,2Kg,5Kg入りをご用意できます

【10】(財)浦川原農業振興公社(浦川原区)

理事長 原 恒博

住所 上越市浦川原区顕聖寺 382-1 (〒 942-0314)

電話 025-599-3882 F A X 025-599-2870

商品番号	商品名	内容量	価格(税込)
①	浦川原産コシヒカリ	5 kg	2,500円
②	浦川原産コシヒカリ	10 kg	5,000円

- 1 品種 コシヒカリ(100%) 4 食味 良食味
 2 栽培方法 慣行米・除草剤使用1回 5 その他 栽培の履歴有り
 3 品質 一等級



【11】正善寺工房(NPO法人食の工房ネットワーク)(合併前の上越市)

代表者 小林 元

住所 上越市下正善寺 1027-2 (〒 943-0813)

電話 025-523-0621 F A X 025-523-0621



商品番号	商品名(品種・認証等)	栽培方法	内容量	価格(税込)
①	センター認証 JAS・有機栽培米 合鴨コシヒカリ100%	無化学肥料 除草剤未使用	5 kg	5,775円
②	センター認証 JAS・有機栽培米 コシヒカリ100%	無化学肥料 除草剤未使用	5 kg	4,620円
③	センター認証 特別栽培米 コシヒカリ100%	無化学肥料 除草剤使用1回	5 kg	3,675円
④	新潟県認証 特別栽培米 コシヒカリ100%	減化学肥料 除草剤使用1回	5 kg	3,255円
⑤	慣行栽培米 コシヒカリ100%	慣行米 除草剤使用1回	5 kg	3,045円
⑥	無洗米慣行栽培米 コシヒカリ100%	慣行米 除草剤使用1回	5 kg	3,150円
⑦	センター認証 JAS・有機栽培米 紫黒米(もち米)	有機米・無化学肥料 除草剤未使用	1 kg	1,750円
⑧	センター認証 特別栽培米 こがねもち(もち米)	無化学肥料 除草剤使用1回	2 kg	1,575円
⑨	センター認証 特別栽培米 こがねもち(もち米)	無化学肥料 除草剤使用1回	5 kg	3,935円
⑩	センター認証 JAS・有機栽培米 紫黒米(うるち米)	有機米・無化学肥料 除草剤未使用	1 kg	1,750円
⑪	センター認証 特別栽培米 低タンパク米(春陽)	無化学肥料 除草剤使用1回	5 kg	4,050円

- 1 品質 一等級
 2 食味 良食味・5つ星★★★★★
 3 その他 栽培の履歴有り

(株)アファス認証センター認証は、センター認証と略してあります。

[12] 手づくり百人協同組合（安塚区） 代表取締役社長 高宮靖之

代表者 増野 いつ子

住所 上越市安塚区樽田140 雪だるま物産館（〒942-0531）

電話 025-595-1010 F A X 025-595-1026



商品番号	商品名（品種・認証等）	内容量	価格（税込）
①	棚田百選米（雪中貯蔵）	2kg	1,200円
②	棚田百選米（雪中貯蔵）	3kg	1,800円
③	棚田百選米（雪中貯蔵）	5kg	3,000円
④	棚田百選米（雪中貯蔵）	10kg	6,000円
⑤ ※	棚田のはさかけ米（雪中貯蔵）	5kg	3,500円
⑥ ※	棚田のはさかけ米（雪中貯蔵）	10kg	7,000円

1 品種 コシヒカリ（100%）

2 栽培方法 慣行米

3 品質 一等級

4 食味 良好

◆ 2kg、3kgはナイロン袋、5kg、10kgは紙袋入りです

※ 1 品種 コシヒカリ（100%）

2 栽培方法 慣行米

3 品質 一等級

4 食味 香り好し、冷めても美味し

※ 袋は市販の紙袋になります。

[13] (株) じょうえつ東京農大

代表取締役 藤本彰三

住所 上越市大字吉浦字梨子平1821-1（〒949-1705）[上越農場]

電話 025-531-5450 F A X 025-531-5455

住所 東京都世田谷区桜丘1-1-1 東京農業大学内 [本店]

電話 03-5477-2721 F A X 03-5477-2721

商品番号	商品名（品種・認証等）	内容量	価格（税込）
①	東京農大じょうえつ米・精米	3kg	1,800円
②	東京農大じょうえつ米・精米	5kg	3,000円
③	有機米・精米	3kg	2,400円
④	有機米・精米	5kg	4,000円
⑤	特上有機米・精米	3kg	3,600円
⑥	特上有機米・精米	5kg	6,000円

①②：有機認証は未取得ですが、③④と同じ農法で栽培しました。遠赤乾燥。

③④：有機JAS認証米を最新の遠赤外線乾燥機で乾燥し、色選別したものです。

⑤⑥：有機JAS認証米を伝統的なハサで天日乾燥。色選別。

贈答品に最適なおコメです。

[14] 「ふるさと上越ネットワーク」ブランド米

商品番号	商品名（品種・認証等）	内容量	価格（税込）
①	コシヒカリ 新潟県認証 特別栽培米	1kg	900円

◆ 品 種：コシヒカリ（100%）

◆ 栽培方法：減化学肥料・減農薬

◆ 品 質：新潟県認証

◆ 食 味：良好

◆ その他：栽培の履歴有り

※ご注文は、1kgより

受けたまわります。

生産者 曾我文隆

生産地 上越市大湊

精 米 受注ごとにJネット事務局にて精米

（※精米機：サタケ製 グリーンワンパス BS300AS）

上越ふるさと市場

(上越商業サービス公社取扱い)

ふるさとの味は如何ですか

魚住かまぼこ店

分類:海産

上越市春日新田5丁目19番18号

TEL 025-543-2438

FAX 025-544-5092

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
021	昆布巻蒲鉾 (かまぼこの生身を幅広のだし昆布で巻いた蒸し蒲鉾、真空包装)	250g	670円	原料スリミのたら・いとりとも最高ランクSA級。昆布は道産真昆布の1等級を使用。	クール 通年
022	板なし明太子入り蒲鉾 (かまぼこの生身に辛子明太子を混ぜて練り、蒲鉾型に成型した蒸し蒲鉾、真空包装)	250g	560円	蒲鉾の旨みと明太子の味がマッチ。チョッピリ辛めで、ビールの肴に最適。	クール 通年
023	板なしか入り蒲鉾 (かまぼこの生身にスライカミのほくし魚を混ぜた蒸し蒲鉾、真空包装)	250g	650円	かへの旨味、かまぼこの歯ざわりのよさ。美味。評価高い。	クール 通年

平 八

分類:海産

上越市木田3丁目8番48号

TEL 025-524-3330

mail:heihaichi@heihaichi-kamaboko.com

FAX 025-524-3352

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
012	塩するめ	M 5枚	2,040円	厳選したイカを天日塩を使い、丁寧に作りました。そのまま焼いたり、天ぷらにして楽しんで下さい。	クール 通年
031	きくらげ小板	220g	546円	独自に味付したきくらげと蒲鉾の食感が良く合います。	クール 通年
032	鮭小板	220g	945円	天然鮭を下ごしらえし五目蒲鉾の上のせた板付蒲鉾	クール 通年
033	穴子巻	250g	1,155円	活ア穴子をたれ焼きにして五目蒲鉾の身にのせず巻きにした手巻蒲鉾	クール 通年

岩の原葡萄酒

分類:醸造

上越市北方1223番地

TEL 025-528-4002

http://www.iwanohara.sgn.ne.jp

mail:iwanohara.sgn.ne.jp

FAX 025-528-3530

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
041	深雪花セット 深雪花(赤)、深雪花(白)、化粧箱入り	720ml 各1本	4,551円	フレンチオーク樽でじっくり熟成させたまろやかな赤ワインと、自然清澄と低温発酵で爽やかに仕上げた白ワイン。	常温 通年
042	スペリユールセット スペリユール(赤)、スペリユール(白)、化粧箱入り	720ml 各1本	3,479円	豊かな果実味と深みのある味わいの赤ワインと、ほちみつを想わせる香りと豊かな酸が織り成すキレのある口当たりの白ワイン。	常温 通年
043	フルーティセット フルーティールージュ(赤)、フルーティブラン(白)、化粧箱入り	720ml 各1本	2,389円	もぎたて葡萄そのままの香りと、みずみずしい口当たりが特徴のフレッシュ&フルーティなワイン。	常温 通年

田中酒造

分類:醸造

上越市大字長浜129番地1

TEL 025-546-2311

FAX 025-546-2433

http://www16.ocn.ne.jp/~noutaka/home.html

mail:noutaka-tanakashuzou@eos.ocn.ne.jp

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
051	大吟醸 能産 (原料米:山田錦 精白40%、日本酒度+4、アルコール度数16.5、酸度1.2)	720ml	2,624円	主席第一位の実績に輝く淡麗うま口の酒	常温 過年
052	吟醸・特別本醸造2本入セット (吟醸・原料米:山田錦・五百万石 精白50%、日本酒度+5、アルコール度数16.4、酸度1.3) (特別本醸造・原料米:五百万石、雪の精 精白55%、日本酒度+6、アルコール度数16.5、酸度1.4)	各720ml	2,963円	吟醸…吟醸酒の香りを楽しむ爽やかな酔い心地の酒 特別本醸造…最高の技術で丁寧に仕上げた淡麗うま口の酒	常温 過年
053	特別純米・上撰黒松2本入セット (特別純米…原料米:五百万石、雪の精 精白55%、日本酒度+6、アルコール度数17.3、酸度1.7) (上撰黒松…原料米:五百万石、新潟早生 精白60%、日本酒度+6、アルコール度数15.6、酸度1.3)	各720ml	2,476円	特別純米…越後杜氏の本格仕込みによる芳醇な風味とずっさりした口当たりの良い酒 上撰黒松…魅力溢れる本醸造りでひとクラス上を感じさせてくれる、ずっさりした辛口の酒	常温 過年

武蔵野酒造

分類:醸造

上越市西城町4丁目7番46号

TEL 025-523-2169

FAX 025-524-3041

http://www.musashino-shuzo.com

mail:hajime_k@musashino-shuzo.com

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
061	スキー正宗 特別本醸造	720ml	1,050円	越後高田、日本スキー発祥地にちなみ命名。やや甘口に感じる旨味のある特別本醸造酒です。全てのお料理に合う食中酒として、冷から熱燗まで美味しく召し上がり頂けます。	常温 過年
062	春日山 天と地 辛口本醸造	720ml	1,050円	上越謙信公の居城があった春日山にちなみ命名。やや辛口で飲みやすいスッキリとした味わいが特徴の純米酒。冷からぬる燗まで美味しくお召し上がり頂けます。	常温 過年
063	華(はな) 大吟醸	1,000ml	4,100円	原料米に五百万石を使用し、長期低温発酵により醸し出された大吟醸酒です。大吟醸特有のフルーティーな香りをお楽しみ下さい。冷や又は常温で美味しく召し上がり頂けます。	常温 過年

JAえちご上越 米酒センター

分類:米処

上越市春日新田5丁目3番11号

TEL 025-543-0055

FAX 025-543-5261

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
071	雁木通り	2kg	1,200円	上越産コシヒカリ米 100%	常温 過年
072	雁木通り	5kg	2,880円		常温 過年
073	雁木通り	10kg	5,760円		常温 過年

※相場により変動あり

えちご上越農業協同組合

分類: 米処

上越市藤巻5番30号
TEL 025-543-0055
http://www.ja-ej.com
mail:jakakouka@ja-ej.com

FAX 025-543-0068

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
091	きんしやり (コシヒカリ米100%)※相増により変動あり	5kg	2,800円	えちご上越管内で育ったおいしいお米です。一粒一粒に安心安全を込めてお届けします。	常温 通年
092	こがね餅(短切餅) (水稲モチ米「こがねもち100%」使用)	40枚	2,500円	えちご上越管内で育った水稲モチ米こがねもち100%使用。衛生的なクリーンルームで添加物を使用せずに製造しています。使い易い個包装タイプです。	常温 通年
093	越後みそ 味噌路 (赤みそ)	1kg×4	2,200円	えちご上越管内で育った大豆を原料に熟成させた、こくのある味噌です。	常温 通年

かんずり

分類: 米処

妙高市西条438番地1
TEL 0255-72-3813
http://www.haneuma.net/kanzuri/
mail:kanzuri@haneuma.net

FAX 0255-72-0344

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
101	かんずりセット #20 かんずり(大)80g、かんずり漬山菜80g、かんずり漬えのき茸80g	各1個	2,100円	かんずりの定番商品セットです。三年間ゆっくり熟成・酸酵させて造る、日本で唯一の酸酵香辛料です。	常温 通年
102	かんずり(大)	80g 1個	630円		常温 通年
103	かんずり漬えのき茸	80g 1個	630円		常温 通年

山本味噌醸造場

分類: 米処

上越市中央1丁目13番4号
TEL 025-543-2283

FAX 025-543-1373

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
111	コシヒカリみそ	1kg	1,103円	特別栽培新潟コシヒカリ米と特別栽培北海道大豆及び天日塩を原料とし塩分11%にひかえた長期熟成天然醸造手造り味噌です。	常温 通年
112	越の淡雪	1kg	772円	国産大豆と国産丸米を主原料に新潟県の特許技術による製造法で塩分を8.5%にひかえ、天然発酵でじっくりと熟成させた手造り味噌です。	常温 通年
113	みそ漬け(6品入) 大根、茄子、胡瓜、生薑、昆布、山芋等)	320g	735円	手造りみそに長期間漬け込んだ越後風味のみそやのみそ漬けです。	常温 通年

石田弥菓子店

分類: 銘菓

上越市中央1丁目5番1号
TEL・FAX 025-543-2502

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
121	謙信の城	10ヶ入	1,260円	皮は乳菓で中餡は赤と白のミックスで生クリームを入れて造っています。	常温 通年
122	謙信銘菓 十三夜	10ヶ入	1,260円	ホイル焼きで、中の餡は黄餡で大納言を入れて造っています。	常温 通年
123	笹だんご	10ヶ入	1,260円	越後平野に取れるお米と餅草を主原料にした当店独自の製法によるものです。	常温 通年

田炉裏庵

分類:銘菓

上越市中通町6番17号
TEL 025-525-8771
http://www.ironian.com

FAX 025-524-5449

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
131	寒椿	個包装 90g	368円	新潟産水稲モチ米を使用した昔ながらのしょう油味のおかし。	常温 通年
132	寒椿マヨネーズ	個包装 82g	368円	新潟産水稲モチ米を使用したマヨネーズ味のおかし。	常温 通年
133	日輪ごま	9枚	368円	新潟産のコシヒカリを使用したごませんべい。	常温 通年

大杉屋惣兵衛

分類:銘菓

上越市本町5丁目3番31号
TEL 025-525-2500
http://www.homepage3.nifty.com/ohsugiya/
mail:ohsugiya_sohbei@nifty.com

FAX 025-525-2159

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
141	翁 飴	20個入	1,365円	江戸時代からの越後銘菓。もち米、飴を角にかためたもの。	常温 通年
142	おぐらようかん 春日山	460g	1,365円	大納言の風味を生かした羊羹。(題字は上杉謙信公)	常温 通年
143	くろようかん 第一義	480g	1,365円	丹精こめて練り上げた黒砂糖羊羹。(題字は上杉謙信公)	常温 通年

菓子処 くさのや

分類:銘菓

上越市中央1丁目4番1号
TEL 025-543-5351
http://www.kusanova.com
mail@kusanoya.com

FAX 025-544-6302

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
161	笹だんご	10ヶかご入	1,390円	越後の上質米を原料に風味豊かなよもぎを加えた餅でつぶあんを包み、煎豆でくるんだものです。翌日配達可能地域以外はクール便のみの発送となります。	クール 常温 通年
162	笹だんご (数量に応じ、サービス袋・箱にお入れいたします。)	1ヶ	136円		クール 常温 通年
163	ちまき	5ヶ入	630円		香り豊かな笹の葉でおいしい越後のもち米をくるみ、ゆで上げたものです。翌日配達可能地域以外はクール便のみの発送となります。

小竹製菓

分類:銘菓

上越市南高田町3番1号
TEL 025-524-7805

FAX 025-524-1735

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
171	小竹のサンドパン	5ヶ	630円	特製ホワイトクリームを付けた昔なつかしいコッペパンです。	常温 通年
172	小竹のサンドパン	10ヶ	1,260円		常温 通年
173	小竹のサンドパン	15ヶ	1,890円		常温 通年

十四代 高橋孫左衛門商店

分類:銘菓

上越市南本町3丁目7番2号
TEL 025-524-1188
http://www.etigo-ameya.co.jp
mail:info@etigo-ameya.co.jp

FAX 025-525-3138

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
181	翁 鮎	12ヶ	798円	江戸時代より続く、高田の銘菓です。	常温 通年
182	栗 鮎	2ヶ	1,733円	日本で初めて創製された、もち米の水鮎です。	常温 通年
183	詰合せ (翁鮎12ヶ、栗鮎1ヶ、るり鮎6ヶ)		2,310円	贈り物に好適な詰合せです。	常温 通年

関のや製菓

分類:銘菓

上越市上菅根399番地の1
TEL 025-528-4017

FAX 025-528-4085

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
191	久比岐野銘菓 八社五社(やしやごしゃ) (小豆5ヶ、クリームあん(白)5ヶ)		1,365円	上越一円で広く取われ語り継がれる民謡「八社五社」、昭和49年に上越市無形文化財第一号に指定され、記念として造られたお菓子です。じっくりと練りこんだ小豆鮎とクリーム鮎の二種類があり、うす皮でしっとり焼き上げました。※夏期のみクール便	クール 通年 常温
192	岩の原ワインゼリー (赤ワインゼリー6ヶ、白ワインゼリー3ヶ)		2,037円	日本の葡萄とワインの父、川上善兵衛の情熱により生まれた100余年の歴史を持つ伝統の味。岩の原ワインをたっぷり使用したワインゼリーです。味と香りで100余年のロマンを感じて下さい。	常温 通年
193	岩の原オリジナルケーキ (アーモンド、紅茶、チーズ、チョコレートのお好みものをご指定下さい。)	1本	1,365円	岩の原ホワイトブランデーを使用した当店オリジナルケーキです。四種類の味が有り、それぞれの味を十分に楽しんでいたげるケーキです。	常温 通年

紅 屋

分類:銘菓

上越市仲町4丁目5番4号
TEL 025-523-3098

FAX 025-523-3175

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
211	塩羊羹	1本	525円	昔ながらの製法で作られた懐の塩を使用した、さっぱりとした塩味の風味を大切に塩羊羹を仕上げました。	常温 通年
212	笹だんご (化粧箱入)	10ヶ入	1,413円	越後高田を代表する故郷の味。笹の葉に包まれたよもぎだんごの野趣豊かな風味は、何時も新鮮な郷愁をたたえています。	常温 通年
213	笹だんご (化粧箱入)	20ヶ入	2,825円		常温 通年

マーブル市原

分類:銘菓

上越市大学前204
TEL・FAX 025-526-1395

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
221	雪中梅入り酒ヶケーキ	1本	1,200円	地元の雪中梅を使用した、しっとりとした酒ヶケーキです。	常温 通年
222	雪中梅入り酒ヶケーキと春日山謙信流陣太鼓 (雪中梅入り梅ヶケーキ1本、春日山謙信流陣太鼓6ヶ入)		2,300円	雪中梅入り酒ヶケーキ…地元の雪中梅を使用した、しっとりとした酒ヶケーキです。 春日山謙信流陣太鼓…高田公園をイメージし桜の花と蓮の実をお菓子にのせ焼き上げました。中には白アンと小倉アンがそれぞれ	常温 通年
223	笹だんご	20ヶ入	2,625円	手作りの笹だんご。できてからお届けします。	常温 通年

三野屋菓子店

分類: 銘菓

上越市中央1丁目1番11号

TEL 025-543-2538

FAX 025-543-2391

mail:supersonic@bg.wakwak.com

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
231	継続だんご	8本入	1,050円	林芙美子の名作「放浪記」にも登場する当地の名物です。白餡を丸めて、串にさし、一本一本でいねいに焼き色をつける様に焼きあげ、100年間変わらぬ手作りにて、味と歴史を伝え続けています。	常温 通年
232	笹だんご	20個入	2,940円	新潟県を代表するお土産の一つです。餡が美味しい事が自慢の当店の笹だんご。ぜひともご賞味下さい。	常温 通年
233	桜サブレ	10枚入	1,050円	日本三大夜桜を誇る上越市の木は「桜」です。桜の花の塩漬けを一輪咲かせて、焼き上げてあります。	常温 通年

杉田味噌醸造場

分類: 米処

上越市本町4丁目3番16号

TEL 025-525-2512

FAX 025-523-6350

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
251	雪の花みそ 中辛	4kg 朱樽	3,675円		常温 通年
252	雪の花みそ 中辛 (贈答用、化粧箱入)	1kg×5	3,413円		常温 通年
253	越後みそ漬け 音づくり 辛口	1kg	2,100円		常温 通年
254	越後高田 甘口みそ漬け	1kg	2,468円		常温 通年
255	みそ・みそ漬けセット (中辛3kg、甘口みそ漬け700g)		3,896円		常温 通年
256	雪の花みそ 中辛	1kg	724円		常温 通年
257	雪の花みそ 甘口	1kg	778円		常温 通年

わかなみ

分類: 銘菓

上越市板倉区高野1351

TEL 0255-81-4170

FAX 0255-81-4177

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説	備考
261	販売られ		368円		常温 通年

お店紹介

やきとん酒場

『老鉄』

八重洲店

東京駅の直ぐ近く、八重洲ブックセンターの左隣の路地を五十メートルくらい行ったビルの一階にある。

居酒屋の赤い提灯が点いており、直ぐにわかる。

このお店は都内に「蔵の桜」をはじめ多くのお店を持つヨシハシ・グループのお店のひとつである。オーナーは吉川出身の安島さんだ。

店長は内田淳さん。

店内は場所柄、いつも盛況である。

先日、高校時代の友人五人と早めに行った。煮込み豆腐、やきとん、キャベツなど店長のお勧めを色々食べたが、どれもみな美味しかった。

特筆すべきは、生ホッピーが置いてあることである。尿酸値を気にする人でもこれなら何杯でも飲める。

勘定は割り勘にしたが、満足のいく値

段だった。

出張帰りにちよつと寄るには最適な店だ。

毎日真夜中近くまで営業している。

『老鉄』八重洲店

東京都中央区八重洲二の六の五

八重洲五の五ビル一階

電話〇三・五二九九・六一五五

土、日、祝は休み。



渋谷のスナック二軒 『茶蘭華』『美和』

『茶蘭華』

ご存じ柿崎出身の猿山のママが経営するバブである。

カウンターは狭いがボックス席が広い。

もうお店は古いが、最近お店のマスターが引退して新しいママ加川文子さんに変わった。女の子も新しい子が入り、お店の雰囲気は様変わりである。

いつも混んでおり、カラオケ好きが集まるから、静かにカウンターで飲むには一寸不向き。亡年会葬りに気楽に行けるお店といった感じである。

住所 東京都渋谷区 一―十五―十六

渋谷ソシアルビル二 5階

電話 〇三三四〇七―一七六七

『美和』

先日二十五周年を迎えた老舗。スナックバーである。

カウンターが主体で雰囲気は中々良い。ママは黒井出身の美山和子さん。保倉川近くで育ったそうだ。

お客さんは常連が多いが、初めての方でも歓迎してくれる。

もちろん立派なカラオケセットがある。

お店は一階だから分かりやすい。道路に大きな看板が立っているのので、近くを通ればすぐわかる。

住所 東京都渋谷区

一―九―一―一〇五

電話 〇三三四八六―一九三七



地元に着した総合タウン誌

月刊 **JACK LAND**
上越エリア情報誌 ジャックランド

350円

毎月25日発売

定期購読承ります

新潟県上越市上島464-1 エリート2F
TEL.025-524-4275 FAX.025-524-4451
e-mail hensyuubu@jack-land.com
URL <http://www.jack-land.com>

会の運営に
ご協力いただいている
特別賛助会員です。

J

- ★特別賛助会員とJネットはお互いに協力しながら良いまちづくりをめざします。
- ★Jネットでは会の運営に協力していただける特別賛助会員を募集しております。
- ★皆様のご存知の企業・団体等で賛助会員をお願いできるようなところがありましたら是非ご紹介ください。

NPO法人 食の工房ネットワーク

NPO法人・食の工房ネットワークは、私たちが目指す「“食べる側”と“作る側”を本来の姿につなぐ活動”を中心に、お互いの立場から結びつきを大切に、畑から食卓までの流れの中で、安全性や品質に“透明性”を求めることを共通の目的として設立いたしました。消費者と生産者がお互いに適じながら、安全な地域の生産品を、安心して食べることが出来るように“食に関するプラットフォームづくり”を進めています。



こんな活動をしています

- 農産物・加工品に関する情報収集及び情報発信
- 農産加工品に関する調査及び研究
- 地場農産物・加工品の消費拡大事業
- 自然を通じて子供たちに五感を感じさせる活動

これらのコンサルティング・教育・講習を
中心に事業展開しています。

〒943-0831 新潟県上越市下正善寺1027-2 正善寺工房内
TEL・FAX 025-523-0621



(有)上越商業サービス公社

上越観光物産センター内
上越市藤野新田175-1 〒943-0171
TEL 025-545-0123 FAX 025-545-1113
営業時間 9時～18時
休館日 月曜日、祝日の翌日

上越の名産・特産品を一堂に取り揃えています。
お土産選びにぜひご利用ください。

取扱商品例
塩するめ、かまぼこ、ワイン、日本酒、米、そば、
ちまき、おかき、笹だんご、各種銘菓

通信販売も行っています。Jネット会員の皆様が利用される場合は、送料は不要です(送料は、Jネットが負担します)。ご贈答等にもご利用ください。



創業明治23年
伝統の味
岩の原ワイン

～日本の本格的ワイン発祥の地～

株式会社 岩の原葡萄園

TEL 025-528-4002 新潟県上越市北方1223番地
URL <http://www.iwanohara.sgn.ne.jp/>

1800年(明治23年)、新潟のここの上越市で、日本のワインとぶどうの父「川上善兵衛」は、岩の原葡萄園を拓きました。日本の気候風土に合った「マスカット・ペーリーア」等の優良ぶどうを生み出すなど、国産ワインの歴史に多くの足跡を残し、西洋に負けない本格ワイン造りを目指しました。2009年度国産ワインコンクールでの金賞及びカテゴリー賞受賞等、幾多のワインコンクールで受賞の栄誉に輝いてきた「岩の原ワイン」の始まりでした。

「岩の原ワイン」は、上記のホームページからも購入できるようになりました。
お問い合わせ 株式会社岩の原葡萄園 025-528-4002

山里のすべてが湯ったり村です。

月明 蒼穹 蒼穹
紫昏 叢嵐 叢嵐
花薫 豊饒 豊饒
風鳴 伝説 伝説
瀬音 狹霧 狹霧
寂静 星雨 星雨



十八丁色の新しめ集
くわどまり湯たまり村 上越市南E1601
TEL 541-2611 FAX 541-2616

日刊
上越タイムス

上越タイムス 検索

各種お問い合わせは

☎ 0120-17-4243

購読料は1ヶ月 2,875円(税別送料)

※お支払いは郵便振替となります

紙面に掲載した写真提供致します。

※詳しくはお問い合わせ下さい。

株式会社 上越タイムス社

〒943-0823 新潟県上越市高土町2-4-6
TEL 025-525-6666 FAX 025-525-0061
URL www.j-times.jp



携帯メールニュース

ぽけっとタイムス

好評配信中! jtimes@hain.jp



スマートフォンで
お読みください

大豆・米を使用した自慢の味噌です。



赤みそ・白みそカップ入り

お問合せは

JA えちご上越 あぐりフーズ

えちご上越農業協同組合 あぐりフーズ
〒942-0061 新潟県上越市春日新田5-3-11

☎ 0120-81-1093

インターネットから「ごちそう市場」www.ja-ichiba.com
お買取りできます。

ふるさとへの便り 毎日お届けします

介護付有料老人ホーム ザ・サンシャイン上越



ツクイは在宅介護を始めて今年で26年、
トータルケアをご提供するため
「ザ・サンシャイン」をスタートしました。
介護のプロフェッショナルとして、
お客様やご家族と真剣に「介護」に
向き合っています。
全ては笑顔で穏やかな毎日を
過ごしていただくために。

暮らしの安心を
ツクイ

お問合せ・資料請求・入居に関するご相談はお気軽に

介護付有料老人ホーム ザ・サンシャイン上越

〒942-0081 上越市五智 2-1-1

0120-291-605

<http://www.tsukui.net> ツクイ 検索

本社・東京支店 〒233-0002 横浜市港南区上大岡西 1-9-1
株式会社ツクイ TEL 045-942-4110 代

JANADA 947-0002
■定員 30名(全室個室)
■入居条件等 要介護



上越初の本格的なシニアレジデンス
(住宅型有料老人ホーム) サンクス高田・自在館「舊」の体験入居のご案内

新設のホームで、故郷の正月・冬季を雪中梅や岩の原ワインでお楽しみ
下さいませ。

「ふるさと上越ネットワーク」の会員の皆様(ご家族・友人)に限り、半額の
サービスをご提供いたします。(最近首都圏の皆様のご利用が増えてます)

○体験入居の内容(詳しくは、下記へお問い合わせください)
体験入居宿泊料金: 1人入居1泊あたり 5,250円 ⇒ 2,500円
(税込) 2人入居1泊あたり 6,300円 ⇒ 3,000円
なお、お食事代は別途、1名あたり 朝食 420円 昼食 630円 夕食 840円の実
費(税込)をご負担いただきます。

○自在館の特徴
美容室、レストラン、アトリエ等多機能で選択と自由度の優れたホームです。
1 ご夫婦で入居、生活できる(自炊可)広さと設備が備わっています。
2 お元気な方も要介護の方のいずれも入居できます。
またホーム内には、訪問介護施設があります。介護は居室内で受けられる
ため、プライバシーが確保され終身にわたり暮らしに役立てられています。
3 当ホームの立地は、高田駅直近(徒歩5分)のまちなかであり、かつ4つ
の医療機関と連携し、医療面でも安心なホームです。
4 24時間のサービス体制のため安心です。

○サンクス高田(介護付き有料老人ホーム)の特徴
サンクス高田は、上越ご出身の首都圏在住者の皆様からも終の棲家として
ご利用いただいております。(入居者様の約30%が首都圏関係)

○お問合せ先
サンクス高田・自在館電話: 025-521-2264
サンクス高田・自在館FAX: 025-521-2733
サンクス高田・自在館ホームページ: 「上越 自在館」で検索
サンクス高田・自在館メール: info@sankusu-jizaikan.jp

新しい時代の交流

ふるさと上越ネットワーク

ふるさとの出身者との交流の輪を広げましょう。
都会に上越の新しい「地縁」が育っています。
友会はJネット運営事務局で受け付けています。
お友だちをご紹介します。



Jネット運営委員会事務局
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-16-6
二葉ビル6階6B号
TEL 03-6415-6277 FAX 03-6415-6299
ホームページ: www.joetsu.gr.jp
※インターネットからも入会申し込みできます。

入会資格のキーワードは「上越」

(株) じょうえつ東京農大

本店 〒156-8502 世田谷区桜丘 1-1-1
電話 (FAX) 03-5477-2721
上越農場 〒949-1705 上越市大吉浦 1821
電話 025-531-5450 FAX 025-531-5455

東京農業大学が、地元関係者と一緒で平成20
年4月に設立した会社です。桑取谷浜地区で
有機農場を経営(JAS 認証取得)。農業・化学
肥料を一切使用しないで、コメと野菜を栽培。
ダイコン酢漬、乾燥野菜も生産。

- 学術研究の深化と成果の社会還元
- 実践的教育の遂行
- 耕作放棄地再開発による地域振興
- 東京農大ブランドの確立

安全で環境に優しく美味しい農産物をお届けします。

直売、ネット販売も行っています。
詳しくは www.jnodai.co.jp

上越市の主な催し

「上越市のイベントカレンダー」より、今年度の主な催しをとりあげてみました。是非参加されませんか。なお、都合により変更になる場合もありますので、「問合せ先」または、市の企画政策課（電話：025-526-5111）に確認してください。

DECEMBER

12月



平成21年度 イベント・大会等一覧

コレクション展Ⅲ 「仏のすがた」	12月12日(土)～ 3月14日(日)	小林古径記念美術館・小林古径邸	《観音》や《不動》など、古径は仏の姿を何度か作品にしています。仏画を模写した作品や仏像の写生画を展示し、古径が魅かれた仏の世界を紹介します。	小林古径記念美術館 TEL025-523-8680
企画展Ⅲ 「上越の時を刻んだ時計たち」	12月12日(土)～ 3月14日(日)	総合博物館	明治中期頃の細部まで彫刻が施されたアメリカ製の柱時計や大正・昭和初期のモダンなデザインの柱時計など60数点の時計を展示します。	総合博物館 TEL025-524-3120
企画展Ⅳ 「エミール・ガレ展」	12月12日(土)～ 3月14日(日)	総合博物館	有澤忠一氏から寄贈されたール・ヌーヴォーの代表作家エミール・ガレのガラス工芸作品を紹介します。	総合博物館 TEL025-524-3120
スキー場 オープン感謝デー	12月19日(土) (未定)	安塚区 当たるま高原 キュービットパレイ	スキー場オープンを記念して、ご愛顧のお客様への感謝の気持ちとして、1日券千円や豚汁サービスなどを予定しています。	キュービットパレイ TEL025-593-2041
自然薯まつり	12月上旬(予定)	吉川区 道の駅よしかわ 杜氏の郷	自然薯の即売、試食などを行います。	J A えちご上越富農振興課 TEL025-527-2050
観光物産センター スタンドグラス・ライトアップ	12月中旬～下旬	上越観光物産センター	観光物産センター正面玄関にある高さ8m・幅11mのスタンドグラスをライトアップし、幻想的な空間を作り上げます。ミニコンサートや、物産品等の即売も行います。	(社)上越観光コンベンション協会 TEL025-543-2777

JANUARY

1月



平成21年度 イベント・大会等一覧

日本スキー発祥99周年 スキーの日記念イベント	1月12日(火)	金谷山スキー場	「日本スキー発祥の地」として、全日本スキー連盟から著名な来賓を招き、日本にスキーを伝えたレールビ少佐を顕彰するイベントを行います。	事務局(体育課内) TEL025-545-9246
日本スキー発祥記念館	1月上旬～2月下旬	日本スキー発祥記念館	スキーの歴史や文化について理解を深めてもらうための企画展を開催します。	文化振興課 TEL025-526-6903

FEBRUARY 2月



平成21年度 イベント・大会等一覧

レルヒ祭 ー日本スキー発祥99周年ー	2月6日(土)・7日(日) レルヒウィーク 1月30日(土)～ 2月7日(日)	金谷山スキー場、本町通りほか	日本に初めてスキー術を伝えたレルヒ少佐の遺徳を顕彰するイベント。たいまつ滑降や大花火大会。当時のスキー術を再現した一本杖スキーの披露、スキー検定会などを行います。レルヒウィークでは高田本町商店街を中心とした食の陣やなまつりなども開催します。	レルヒ祭実行委員会事務局 (観光振興課内) TEL025-526-6901 (社)上越観光コンベンション協会 TEL025-543-2777
レルヒ祭 「雪のファンタジーコンサート」	2月7日(日)	日本スキー発祥記念館	レルヒ祭のイベントの一つとしてコンサートを開催します。	文化振興課 TEL025-526-6903
越後高田町家三昧 冬ノ巻	2月6日(土)・7日(日)	町家交流館高田小町、旧今井染物屋、旧金津憲太郎桶店ほか	レルヒ祭の開催に合わせて、江戸時代の旧家から昭和初期の商店まで、日本一の雁木通りを散策しながら町家の魅力を楽しむイベントを開催します。	文化振興課 TEL025-526-6903
牧っこ雪まつり	2月14日(日)	牧区 牧地区公民館前広場	わらで作った長靴を飛ばし飛距離を競うごんぞ飛ばし、雪像つくりコンテスト、住民による美味しい出店などが催されます。	牧振興会 TEL025-533-5151
深山荘どぶろく御膳を楽しむ集い	2月21日(日)	牧区 牧湯の里深山荘	牧区内で製造された濁酒と牧区産食材を中心とした郷土料理をセットにした「どぶろく御膳」を提供するイベントです。※要申込	牧湯の里深山荘 TEL025-533-6785
第27回安塚スノーフェスティバル(キャンドルロード)	2月27日(土)・28日(日) (予定)	安塚区内一円	治道沿いに、たくさんの雪像や約6万本のキャンドルが灯り、幻想の世界を演出。各地域には雪茶屋が設置されます。温かいおともなしと、地域の元気に触れてください。	NPO雪のふるさと安塚 TEL025-592-2004
越後・大島雪ほたるロード	2月27日(土)	大島区内全域	一夜限り雪夜に乱舞する雪ほたる。区内道路の雪像約20キロと雪原に2万本のキャンドルが灯ります。区内4地域でイベントも行われます。(16時～21時)	大島まちづくり振興会 TEL025-594-3122
名立区遊雪まつり	2月28日(日)	名立区 不動地域生涯学習センター	寒い冬に雪と戯れてみませんか。道具を使わず、積み上げた雪の高さを競う「めざせ不動山」のほか、ミニボブスレー、鶏汁、もちの振る舞い等を行います。 ※めざせ不動産は要申込	名立体育協会事務局 (名立区総合事務所教育・文化グループ内) TEL025-537-2126
第29回歩くスキーとクロスカントリースキー大会	2月28日(日)	中郷区 中郷小学校周辺	市内で唯一開催されているクロスカントリースキー大会です。学年・距離別で競う競技のほか、自由参加の歩くスキーの部もあります。	中郷区体育協会事務局 (はーとびあ中郷内) TEL0255-74-2338
寒ざらしそばまつり	2月上旬(未定)	板倉区 板倉そば打ち体験交流施設いたくら亭	寒ざらしした地元産そばを自身でのそば打ちで賞味いただけるほか、お土産として持ち帰りもできます。	板倉そば打ち体験交流施設いたくら亭 TEL0255-81-4720
寺野遊雪まつり	2月中旬(未定)	板倉区 パークみよし野	バンド演奏、雪上相撲、太極拳、カラオケ大会、日本舞踊、大正琴・ギターの演奏、寺野ダービー、火花大会、抽選会などが催されます。	やすらぎ荘 TEL0255-78-4833

MARCH 3月

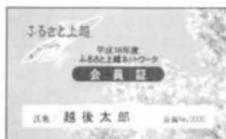


平成21年度 イベント・大会等一覧

特別展 「上越の職人展Ⅱ」	3月27日(土) ～5月9日(日)	総合博物館	伝統的な技術を保持している職人にスポットを当て、その技術を支える道具や材料などを展示紹介します。	総合博物館 Tel 025-524-3120
坂口謹一郎博士と酒とつばきの祭典	3月下旬～4月下旬	頸城区 坂口記念館	坂口謹一郎博士にまつわる企画展や講演会、バスツアーなどを開催します。	文化振興課 Tel 025-526-6903
どうがたの里そばまつり	3月上旬(例年 第1日曜日)	板倉区 筒方地区地域 資源加工施設 (旧筒方小学校)	香り高く良質なそば「霧下そば」の実を使った手打ちそば食堂、そば打ち体験教室、お土産用そば粉・手打ちそばの販売を行います。	どうがたの里ふきんとまつり実行委員会 (市村) Tel 0255-78-4569

上越市の施設

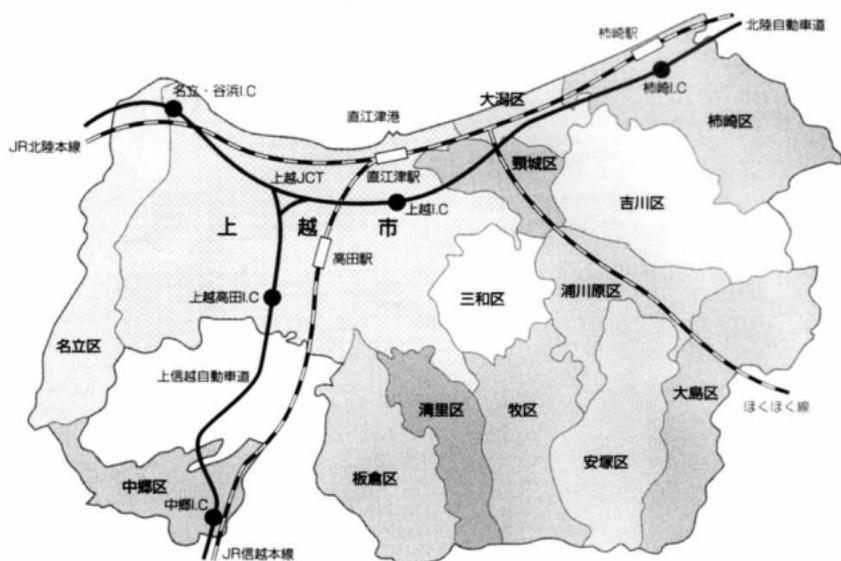
上越市の施設を割引で利用できます。利用の際には
会員証を提示してください。()内は会員の割引料金です。



施設名	住所	電話番号	料金 (一般・個人料金)
リージョンプラザ上越 (アイスアリーナの貸靴料を除く)	下門前446-2	025-544-2122	レジャープール 400円(200円) アイスアリーナ 800円(400円) インドアスタジアム 100円(50円) 市民プール 300円(150円)
上越科学館	下門前446-2	025-544-3939	400円(200円)
五智公園キャンプ場 (バンガロー使用料)	五智6丁目	申込先: 市都市計画課 025-526-5111 管理棟 025-545-9503	1泊3,500円 (1,750円)
交通公園ゴーカート	五智6-1569	025-543-5948	2人乗り200円(100円)
高田城三重櫓	本城町6-1	025-526-5915	200円(100円)
日本スキー発祥記念館	大貫1453-1	025-523-3766	300円(150円)
坂口記念館	頸城区籾ノ木148	025-530-3100	200円(100円)
くるみ家族園	東中島2487	025-544-7440	浴場400円(200円)
市民いこいの家	石橋1-1-3	025-545-5270	浴場250円(120円)
金谷山スキーリフト スーパーボブスレー	大貫595-2	025-525-4295	リフト100円(50円) ボブスレー100円(50円)
蒲川原霧ヶ岳温泉ゆあみ	蒲川原区小谷島1217-1	025-599-3810	500円(250円)
鶴の浜人魚館	大潟区九戸浜241-8	025-534-6211	風呂500円(350円) プール700円(400円)
吉川緑地等利用施設	吉川区尾神588-1	025-547-2545	スラダー400円(200円)
吉川スカイトピア遊ランド	吉川区坪野1458-2	025-547-2221	入館料(入浴) 400円(200円)
三和米と酒の証蔵	三和区大867-1	025-532-4189	300円(150円)
シーサイドパーク名立	名立区名立小泊798-1	025-537-2121	200円(100円)
海洋フィッシングセンター (えさ代を除く)	虫生岩戸719	025-544-2475	使用料100円(50円) 貸し竿200円(100円)
かやぶき美術館	安塚区安塚804-4	025-592-2048	300円(150円)
上越清里星のふるさと館	清里区青柳3436-2	025-528-7227	入館料300円(150円) プラネタリウム料金300円(150円)
水族博物館	西本町4-19-27	025-543-2449	900円(450円)
総合博物館・小林古径記念美術館	本城町7-7	025-524-3120	300円(150円)
牧歴史民俗資料館	牧区宮口1483-1	025-533-5117	200円(100円)
板倉郷土館	板倉区針842-1	025-578-2325	100円(50円)
清里歴史民俗資料館	清里区岡野町1580	025-528-3111	100円(50円)
小林古径邸	本城町7番1号	025-525-2429	200円(100円)



☆上越市マップ



編集後記

今年のふる里は「天地人」に始まり、天地人で終わろうとしております。私達も謙信、景勝、景虎、兼続の足跡を、春と秋の交流会を利用して訪ねてきました。こんなにも多くの旧跡、史跡があったのですね。ふる里再発見の旅でした。山があり、海があり、川があり、海の幸、山の幸そして長い歴史の町、これが私達のふる里です。良いふる里を持っている幸せは歳と共に増えています。

会報28号は秋の交流会の報告、多くの寄稿を中心に書かせて頂きました。また「ふるさと便り」ではいつものように上越タイムスさんのご協力を頂きました。ご協力感謝申し上げます。私達、係は何時でも皆様からの便りをお待ちしております。ご一緒に楽しい会報作りをしませんか。思い出、苦労話などは是非お寄せ下さい。又東京では毎月第2水曜日にサロンと称して交流の場を設けております。こちらにも参加ください。来春には、新しい上越再発見の旅をご一緒にしませんか。

悪い風邪がまん延しております。お身体に気を付けて、良い新年をお迎え下さい。

Ｊネット運営委員 岡村博己



●発行

ふるさと上越ネットワーク事務局（社会システム株式会社 分室内 東京事務所）

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂1-16-6 二葉ビル6階-6B号

TEL.03-6415-6277 FAX.03-6415-6299

E-mail:jnet_tokyo@crp.co.jp

URL:<http://www.joetu.gr.jp/>

本庁担当（上越市企画・地域振興部 企画政策課）

〒943-8601

新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-526-5111（内1447） FAX.025-526-8363

E-mail:j-net@cityjoetu.lg.jp

【皆様からの情報をお待ちしています】 TEL 03-6415-6277（J ネット事務局）
